

第1章 総則

(目的)

第1条 摂南大学(以下「本大学」という)は、時代と地域の要請に基づき、深く専門の学術とその応用を教育研究するとともに、人間力と実践的能力をもち、多様な人々と協働して社会に貢献できる人材を育成し、もって社会の発展と学術・文化の向上をはかることを目的とする。

第2章 組織

(学部、学科および教育研究上の目的)

第2条 本大学に、つぎの学部および学科を置く。

学部	学科
理工学部	生命科学科 住環境デザイン学科 建築学科 機械工学科 電気電子工学科 都市環境工学科
国際学部	国際学科
経営学部	経営学科
薬学部	薬学科
法学部	法律学科
経済学部	経済学科
看護学部	看護学科
農学部	農業生産学科 応用生物科学科 食品栄養学科 食農ビジネス学科
現代社会学部	現代社会学科

- 理工学部生命科学科は、バイオに関する高度な知識と技術を持ち、生命機構の真理を追究する能力と人類の健康および自然環境との共生を実現するための実践的な技術を身につけ、医療・食品・環境に関する分野で活躍できる人材を養成することを目的とする。
- 理工学部住環境デザイン学科は、住宅や身の回りの生活を取り巻く多様なデザイン領域に関する知識と技術を修得し、地球環境を含めた広範な人間の住環境に存在する様々な問題点

を的確に捉える能力を養う。さらに、これらの問題点の解決方法を提案するためのデザイン感性と実践的技術を修得し、持続可能な生活環境と倫理観を持って創造することができる技術者やデザイナーとなる人材を養成することを目的とする。

- 4 理工学部建築学科は、地球環境を含めた広範な人間の生活環境に対する的確な問題意識を持ち、生活基盤となる建築・都市空間の安全性、機能性、審美性の追究と、社会や環境への適切な配慮のできる包括的な知識と技能、さらには倫理観を持った建築設計および建築生産などにかかわる技術者を養成することを目的とする。
- 5 理工学部機械工学科は、人類、社会が直面する課題の解決に寄与する機械の研究開発やものづくりの基礎となる機械工学の専門知識を修得し、問題を発見し解決するための総合的な能力を身につけた実践的機械技術者を養成することを目的とする。
- 6 理工学部電気電子工学科は、社会を支える電気・情報・電子・通信工学の幅広い知識や技術について、電気工学・情報工学を中心に修得し、製品やシステム開発および設計施工などの現場において課題を発見して解決できる実践的な電気系・情報技術者を養成することを目的とする。
- 7 理工学部都市環境工学科は、複雑化・高機能化した都市環境を建設・維持管理・リニューアルするハード面の技術と環境に配慮した都市計画を立案するソフト面の技術を修得し、実践的な技術を身につけた即戦力として活躍できる専門職業人を養成することを目的とする。
- 8 国際学部国際学科は、グローバル化・ボーダーレス化が進む世界における様々な課題について解決策を見出し、果敢に行動できる人材を育成する。世界の国や地域の歴史・地理・社会・文化などの基礎知識を基に、豊かな教養と広い視野を身につけ、多様な価値観を客観的に理解して判断・発信できるグローバルリテラシーを修得した、国際社会で活躍できる知的専門職業人を養成することを目的とする。
- 9 経営学部経営学科は、企業を中心とする組織一般の運営に関する基礎的な理論と知識を身につけるとともに、幅広い教養をあわせ持ち、自律的・主体的に企業経営の一翼を担うことのできる実行力ある知的専門職業人を養成することを目的とする。
- 10 薬学部薬学科は、高い倫理観、心豊かな人間性、実践的能力を備え、わが国の医療の進化、健康・福祉の増進、生活環境の保全に貢献する薬剤師を養成することを目的とする。
- 11 法学部法律学科は、幅広い教養と法学・政治学・法政策学に関わる専門的知識に裏打ちされ、論理的に問題解決ができる能力を有し、主体的に社会貢献をなしうる人間力を持った人材を養成することを目的とする。
- 12 経済学部経済学科は、経済学を基礎として幅広い見識と豊かな人間性を有し、現代の経済社会の諸問題を自ら発見し、多様な人々と協働してその解決に取り組むことのできる人材を養成することを目的とする。
- 13 看護学部看護学科は、生命の尊厳と人権の尊重を基盤とした倫理観、心豊かな人間性と看護実践能力を備えた人材を育成し、地域社会における保健・医療・福祉の向上、看護の発展に貢献できる看護職者を養成することを目的とする。
- 14 農学部農業生産学科は、生物や生産環境の科学的真理の解明および生物資源と農業生産技術の開発とその高度利用を追究し、環境への負荷が少なく、生産効率の高い農業生産を実現、および新技術の開発・普及に必要な知識・技術を身につけ社会に貢献できる人材を養成することを目的とする。

- 15 農学部応用生物科学科は、生物・生命の諸現象と、その背後にある原理とメカニズムを、分子から個体、集団、生態系を含む視点で深く学び、身につけた広範な知識を基に、人類が直面している食料、生命、環境に関わる諸課題の解決に貢献できる、創造力の豊かな人材を養成することを目的とする。
- 16 農学部食品栄養学科は、農学の学びを基盤として、食のプロセス（農産物の生産から加工・流通・消費まで）を体系的に理解し、食・栄養・健康・医療・食育の専門的知識・技能・態度を身につけ、地域の健康と心豊かな暮らしの実現に貢献できる人材を養成することを目的とする。
- 17 農学部食農ビジネス学科は、農業や食料、食品産業に関する経済・経営・マーケティングなどの専門知識を身につけ、国内外に存在する食料・農業に関する社会経済的な諸課題の解決に向けて、それらの知識を理論的・実践的に活用して貢献できる人材を養成することを目的とする。
- 18 現代社会学部現代社会学科は、社会学を基礎とした幅広い見識を有し、社会学的想像力と実践力を身につけた、現代社会が抱える諸課題の解決に貢献できる知的専門職業人を要請する。

(別科)

第2条の2 本大学に留学生別科を置く。

2 留学生別科については、留学生別科規定に定める。

(収容定員)

第3条 本大学の収容定員は、つぎのとおりとする。

学部	学科	入学定員	3年次編入学定員	収容定員
理工学部	生命科学科	105名	5名	430名
	住環境デザイン学科	85名	5名	350名
	建築学科	80名	5名	330名
	機械工学科	130名	5名	530名
	電気電子工学科	105名	5名	430名
	都市環境工学科	80名	5名	330名
	計	585名	30名	2,400名
国際学部	国際学科	250名	5名	1,010名
経営学部	経営学科	280名	6名	1,132名
薬学部	薬学科	220名	—	1,320名
法学部	法律学科	280名	5名	1,130名
経済学部	経済学科	280名	4名	1,128名
看護学部	看護学科	100名	—	400名
農学部	農業生産学科	80名	—	320名
	応用生物科学科	80名	—	320名
	食品栄養学科	80名	—	320名
	食農ビジネス学科	100名	—	400名
	計	340名	—	1,360名

現代社会学部	現代社会学科	250名	—	1,000名
--------	--------	------	---	--------

(職員)

第4条 本大学に、学長、副学長、全学教育機構長、学部長、教務部長、学生部長、事務局長、教授、准教授、講師、助教、助手および研究職員ならびに事務職員を置く。

2 本大学には、前項のほか、IRセンター長、図書館長、情報メディアセンター長、枚方事務室長、入試部長、就職部長、研究支援・社会連携センター長、学科長、教室主任その他必要な職員を置く。

(各職員の職務)

第5条 学長は、本大学の学務を統括し、所属職員を統督する。

2 副学長は、学長を補佐し、その命を受けて本大学の重要な事項についての企画および各学部間の連絡調整を行う。

3 学部長は、学長を補佐し、その命を受けて本大学の教学運営業務を遂行し、各学部内の業務を処理するとともに、各学部にも所属する職員を指揮監督する。

4 教務部長および学生部長は、学長を補佐し、その命を受けて部内の業務を掌理するとともに、各学部間の調整を行う。

5 事務局長は、学長を補佐し、その命を受けて本大学の管理運営業務の遂行にあたる。

6 教授は、専攻分野について、教育上、研究上または実務上の特に優れた知識、能力および実績を有する者であって、学生を教授し、その研究を指導し、または研究に従事する。

7 准教授は、専攻分野について、教育上、研究上または実務上の優れた知識、能力および実績を有する者であって、学生を教授し、その研究を指導し、または研究に従事する。

8 講師は、教授または准教授に準ずる職務に従事する。

9 助教は、専攻分野について、教育上、研究上または実務上の知識および能力を有する者であって、学生を教授し、その研究を指導し、または研究に従事する。

10 助手は、その所属する組織における教育研究の円滑な実施に必要な業務に従事する。

11 研究職員は、教授、准教授、講師および助教の職務を補助し、または指導を受け研究に従事する。

12 事務職員は、本大学の管理運営業務にあたるほか、学生の学修指導および厚生補導に従事する。

13 その他職員の職務については、職制に関する規定に定める。

(大学・大学院運営会議)

第6条 本大学に、大学・大学院運営会議を置く。

2 大学・大学院運営会議は、学長、副学長、全学教育機構長、学部長、研究科長、教務部長、学生部長、事務局長、図書館長、情報メディアセンター長、枚方事務室長、入試部長および就職部長をもって組織し、本大学の重要な事項を審議する。

3 その他大学・大学院運営会議について必要な事項は、大学・大学院運営会議規定に定める。

(教育推進会議)

第6条の3 本大学に、教育推進会議を置く。

- 2 教育推進会議は、全学教育機構長、全学教育機構副機構長、教務部長、グローバル教育センター長、教職支援センター長、ラーニングセンター長、全学教育機構の課長および必要に応じて機構長の推薦により学長が任命した者をもって構成し、本大学の教育推進戦略および全学共通教育に関する重要な事項を審議する。
- 3 その他教育推進会議について必要な事項は、教育推進会議規定に定める。

(教授会)

第7条 本大学の各学部に教授会を置く。

- 2 教授会は、学部長および当該学部の教授をもって組織し、学長がつぎに掲げる事項について決定を行うに当たり意見を述べるものとする。
 - イ 学生の入学および卒業に関すること
 - ロ 学位の授与に関すること
 - ハ 前2号に掲げるもののほか、教育研究に関する重要な事項で、教授会の意見を聴くことが必要と学長が定めるもの
- 3 教授会は、前項に規定するもののほか、学長が掌る教育研究に関する事項について審議し、および学長等の求めに応じ、意見を述べることができる。
- 4 その他各学部の教授会について必要な事項は、各学部の教授会規定に定める。

(委員会)

第8条 本大学に、本大学の重要な事項を審議する組織として、つぎの委員会を置く。

- イ 評価委員会
 - ロ 教員選考・活動評価委員会
 - ハ 入試委員会
 - ニ 教務委員会
 - ホ FD推進委員会
 - ヘ 学生委員会
 - ト 図書館運営委員会
 - チ 就職委員会
 - リ 情報メディアセンター運営委員会
 - ヌ 人権侵害防止委員会
 - ル 個人情報保護委員会
 - ヲ 教職課程運営委員会
- 2 評価委員会は、自己点検・評価および第三者評価に必要な教育研究目標の設定、教育研究活動の改善、将来計画の策定その他重要な事項を審議する。
 - 3 教員選考・活動評価委員会は、教員の採用および昇任の資格審査、研修ならびに教員活動評価に関する事項を審議する。
 - 4 入試委員会は、学長の諮問に応じて各学部の入学者選抜についての企画調整、合否判定その他重要な事項を審議する。

- 5 教務委員会は、学長の諮問に応じて教務に関する重要な事項の審議および教務に関する各学部間の連絡調整を行う。
- 6 FD推進委員会は、学長の諮問に応じて本大学の授業内容と授業方法の改善に関する事項を審議する。
- 7 学生委員会は、学長の諮問に応じて学生の厚生補導、表彰、懲戒その他重要な事項の審議およびそれらに関する各学部間の連絡調整を行う。
- 8 図書館運営委員会は、学長の諮問に応じて図書館の運営に関し必要な事項を審議する。
- 9 就職委員会は、学長の諮問に応じて就職に関する重要な事項の審議および就職に関する各学部間の連絡調整を行う。
- 10 情報メディアセンター運営委員会は、学長の諮問に応じて情報メディアセンターの運営に関し必要な事項を審議する。
- 11 人権侵害防止委員会は、本大学における人権侵害の防止に関し必要な事項を審議する。
- 12 個人情報保護委員会は、本大学における個人情報の保護に関し必要な事項を審議する。
- 13 教職課程運営委員会は、学長の諮問に応じて教職課程の運営に関し必要な事項を審議する。
- 14 その他委員会について必要な事項は、各委員会規定に定める。

(教育方法改善のための組織的な研修等)

第8条の2 本大学は、授業の内容および方法の改善を図るため、組織的な研修および研究を行う。

第3章 学年、学期および休業日

(学年)

第9条 学年は、4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

(学期)

第10条 学年を2期に分ち、前期は4月1日から9月30日まで、後期は10月1日から翌年3月31日までとする。ただし、学長は、前期・後期の授業日数を調整するため、前期の終期および後期の始期を変更することができる。

(休業日)

第11条 授業を行わない日(以下「休業日」という)は、つぎのとおりとする。

イ 日曜日および国民の祝日に関する法律に定める休日

ロ 本学園創立記念日(10月30日)

ハ 春期休業日 3月25日から4月4日まで

ニ 夏期休業日 8月1日から9月18日まで

ホ 冬期休業日 12月23日から翌年1月7日まで

2 必要がある場合は、学長は前項の休業日を臨時に変更することができる。

3 第1項に定めるもののほか、学長は臨時の休業日を定め、または休業日に授業を行うことができる。

第4章 修業年限および在学年限

(修業年限)

第12条 本大学の修業年限は、つぎのとおりとする。

- 理工学部 4年
- 国際学部 4年
- 経営学部 4年
- 薬学部 6年
- 法学部 4年
- 経済学部 4年
- 看護学部 4年
- 農学部 4年
- 現代社会学部 4年

(在学年限)

第13条 学生は、つぎの年数を超えて在学することができない。

- 理工学部 8年
- 国際学部 8年
- 経営学部 8年
- 薬学部 12年
- 法学部 8年
- 経済学部 8年
- 看護学部 8年
- 農学部 8年
- 現代社会学部 8年

2 前項にかかわらず、第19条および第20条の規定により入学、転学部または転学科を許可された者の在学年限については、教授会の議を経て、相当な年限を学部長が定める。

第5章 入学

(入学の時期)

第14条 入学の時期は、学年の始めとする。

2 前項の規定にかかわらず、学長は、学年の途中においても、第10条に定める学期の区分に従い、入学させることができる。

(入学資格)

第15条 本大学に入学することのできる者は、つぎの各号のいずれかに該当するものとする。

- イ 高等学校または中等教育学校を卒業した者
- ロ 通常の課程による12年の学校教育を修了した者(通常の課程以外の課程により、これに相当する学校教育を修了した者を含む)

ハ 学校教育法施行規則第 150 条に定められた者

(入学志願手続)

第16条 本大学への入学を志願する者は、指定の期日までに、所定の出願書類に第40条に定める入学検定料を添えて学長に願出しなければならない。

(入学者の選考)

第17条 入学志願者の選考は、教授会の意見を聴いて、学長が行う。

(入学手続および入学許可)

第18条 前条の選考の結果に基づき合格の通知を受けた者は、指定の期日までに、学費納入規定に定める学費を納入し、かつ、所定の書類を提出しなければならない。

2 学長は、前項の入学手続を完了した者に入学を許可する。

3 前項により入学を許可された者は、入学宣誓式に出席し、かつ入学の宣誓をするものとする。

(編入学、転入学および再入学)

第19条 つぎの各号のいずれかに該当する者で、本大学への入学を志願するものがあるときは、選考のうえ相当年次に編入学を許可することができる。

イ 大学を卒業した者

ロ 大学における2年以上の課程を履修して退学した者

ハ 外国において、学校教育における14年の課程を修了した者

ニ 短期大学、高等専門学校、旧国立工業教員養成所または国立養護教諭養成所を卒業した者

ホ 学校教育法施行規則(昭和22年文部省令第11号)附則第7条に定める従前の規定による高等学校、専門学校または教員養成諸学校等の課程を修了し、または卒業した者

ヘ 専修学校の専門課程(修業年限が2年以上であることその他の文部科学大臣の定める基準を満たすものに限る)を修了した者

ト 高等学校の専攻科の課程(修業年限が2年以上であることその他の文部科学大臣の定める基準を満たすものに限る)を修了した者

チ 本大学において、個別の入学資格審査により、全各号と同等以上の学力があると認めた場合で、入学までに満20歳に達する者

2 つぎの各号のいずれかに該当する者で、本大学への入学を志願するものがあるときは、選考のうえ相当年次に転入学を許可することができる。

イ 本大学以外の大学に入学し、履修歴のある者

ロ 外国の大学に入学し、履修歴のある者

3 つぎの各号のいずれかに該当する者で、本大学への入学を志願するものがあるときは、選考のうえ相当年次に再入学を許可することができる。

イ 本大学を卒業した者

- ロ 本大学を退学した者
 - ハ 第37条イ号、ロ号またはホ号により除籍になった者
- 4 その他編入学、転入学および再入学については、編入学規定、転入学規定、再入学規定にそれぞれ定める。

(転学部または転学科)

第20条 本大学の学生で、他の学部または同一学部の他の学科に転学部もしくは転学科を希望する者は、所属学部長の承認を得て、志願することができる。

- 2 転学部または転学科は、志願先の教授会の意見を聴いて学部長が選考し、学長が相当年次に転学部または転学科を許可する。

(入学者の既修得単位等の取扱い)

第21条 第18条の規定により、入学を許可された者が入学以前に他の大学または短期大学等において修得した単位は、学部長が教授会の議を経て、卒業の要件となる単位として認めることができる。

- 2 前項により卒業の要件となる単位として認めることができる単位数は、第26条により卒業の要件となる単位として認めることができる単位数と合わせて60単位を限度とする。
- 3 第19条および前条の規定により、入学または転学部、転学科を許可された者の本大学または他の大学もしくは短期大学等においてすでに履修した授業科目および修得した単位数の取扱いならびに在学すべき年数については、教授会の議を経て、学部長が定める。

第6章 教育課程、教職課程および履修方法等

(授業科目)

第22条 本大学の学部および学科の教育研究上の目的を達成するために必要な授業科目を置く。

- 2 授業科目は、専門科目および教養科目とし、これを必修科目、選択必修科目および選択科目に区分する。
- 3 前項の区分により、開設する授業科目および単位数は、別表第1のとおり定める。
- 4 第2項のほか、自由科目を置くものとし、各学部の履修規定に定める。

(副専攻)

第22条の2 特定の課題に関する科目で構成する教育課程(副専攻)を開設し、その学習成果を認定することができる。なお、副専攻の教育課程、履修方法および認定要件については、別に定める。

(授業の方法)

第22条の3 授業は、講義、演習、実験、実習もしくは実技のいずれかによりまたはこれらの併用により行うものとする。

- 2 前項の授業は、多様なメディアを高度に利用して、当該授業を行う教室等以外の場所で履修させることができる。ただし、これにより修得する単位数は60単位を超えないものとする。
- 3 第1項の授業を、外国において履修させることができる。前項の規定により、多様なメディアを高度に利用して、当該授業を行う教室等以外の場所で履修させる場合についても、同様とする。
- 4 第1項の授業の一部を、校舎および附属施設以外の場所で行うことができる。

(単位の計算方法)

第23条 授業科目の単位の計算基準は、つぎのとおりとする。

- イ 講義および演習については、15時間から30時間までの範囲で、本大学が定める時間の授業をもって1単位とする。
- ロ 実験、実習および実技については、30時間から45時間までの範囲で、本大学が定める時間の授業をもって1単位とする。
- 2 前項にかかわらず、講義および演習と実験、実習、実技を組み合わせで行う授業科目については、その組み合わせに応じて、15時間から45時間の範囲で、本大学が定める時間の授業をもって1単位とする。
- 3 「卒業研究」については、学修の成果を評価して単位を授与することが適切と認められる場合、これに必要な学修等を考慮して単位数を定める。

(単位の授与)

第24条 授業科目を履修し、その試験に合格した者には、所定の単位を与える。ただし、設計製図、演習、実験、実習および実技については、試験によらないことがある。

(成績の評価基準等)

- 第25条 授業科目の成績は、その授業の方法、内容および年間の計画ならびに成績評価の基準をあらかじめ学生に明示し、当該基準にしたがって行うものとする。
- 2 前項のほか、授業科目の成績については、各学部の履修規定に定める。

(他大学等における授業科目の履修等)

- 第26条 教育上有益と認めるときは、他の大学(外国の大学を含む)との協議に基づき、学長は、当該他大学の授業科目を履修させることができる。
- 2 短期大学または高等専門学校の特攻科における学修その他文部科学大臣が別に定める学修(平成3年度文部省告示第68号に定めるもの)を教育上有益と認めるときは、本大学における授業科目の履修とみなすことができる。
 - 3 本大学の学部間または学科間の協議に基づき、学部長は、他の学部または他の学科の授業科目を履修させることができる。
 - 4 前3項の規定により修得した単位については、教授会の議に基づき、学部長は60単位を限度として卒業の要件となる単位として認めることができる。

(履修の方法および要件等)

第27条 履修の方法および要件等については、各学部の履修規定に定める。

(教職課程)

第28条 教育職員免許状の取得を希望する者のために、教育職員免許法および同法施行規則に基づく教職課程を置く。

- 2 前項により開設する授業科目および単位数は、別表第2のとおり定める。
- 3 本大学において、取得できる教育職員免許状の種類および免許教科は、別表第2の2のとおりとする。
- 4 前項の免許状を取得するための授業科目の履修方法および修得すべき単位等必要な事項は、各学部の履修規定に定める。

第7章 卒業および学位

(卒業)

第29条 本大学に第12条に定める修業年限以上在学し、所定の授業科目を履修し、かつ、つぎに定める単位数を修得した者には、教授会の意見を聴いて、学長が卒業を認定する。

- 理工学部 124単位以上
- 国際学部 124単位以上
- 経営学部 124単位以上
- 薬学部 186単位以上
- 法学部 124単位以上
- 経済学部 124単位以上
- 看護学部 128単位以上
- 農学部 124単位以上
- 現代社会学部 124単位以上

- 2 学長は、卒業を認定した者に対して、卒業証書・学位記を授与する。

(学位の授与)

第30条 本大学を卒業した者に対して、つぎの区分に従って学士の学位を授与する。

学部	学科	学位
理工学部	生命科学科	学士(理学)
	住環境デザイン学科	学士(工学)
	建築学科	
	機械工学科	
	電気電子工学科	
	都市環境工学科	
国際学部	国際学科	学士(文学)
経営学部	経営学科	学士(経営学)

薬学部	薬学科	学士(薬学)
法学部	法律学科	学士(法学)
経済学部	経済学科	学士(経済学)
看護学部	看護学科	学士(看護学)
農学部	農業生産学科 応用生物科学科 食品栄養学科 食農ビジネス学科	学士(農学)
現代社会学部	現代社会学科	学士(社会学)

2 前項のほか、学位について必要な事項は、学位規定に定める。

第8章 休学、転学、留学、退学および除籍

(休学)

第31条 病気その他やむを得ない理由により、引き続き2カ月以上修学することができない者は、休学することができる。

- 2 休学は、所属学部長が許可する。
- 3 病気その他修学することが適当でない認められる者については、所属学部長は休学を命じることができる。

(休学期間)

第32条 休学期間は、1年以内とする。ただし、特別の理由がある場合は、1年を限度として、休学期間の延長を認めることができる。

- 2 休学期間は、通算して3年を超えることができない。
- 3 休学期間は、第13条の在学期間に算入しない。

(復学)

第33条 休学期間が満了し、または休学の理由が消滅したときは、復学することができる。

- 2 復学は、所属学部長が許可する。

(転学)

第34条 他の大学へ入学または転入学を志願しようとする者は、所属学部長に転学願を提出し、学長の許可を受けなければならない。

(留学)

第35条 外国の大学で学修することを志願する者は、学部長の許可を得て留学することができる。

- 2 学部長は、教育上有益と認められる場合に限り、教授会の議を経て留学を許可する。
- 3 前項の許可を得て留学した期間は、第13条に定める在学期間に含めることができる。

- 4 第26条第4項にかかわらず、外国の大学へ留学する場合、卒業の要件となる単位として認めることができる単位数は、30単位を限度とする。

(退学)

第36条 退学しようとする者は、所属学部長に保証人連署の退学願と学生証を提出し、学長の許可を受けなければならない。

(除籍)

第37条 つぎの各号のいずれかに該当する者は、学長が除籍する。

- イ 学費を所定の期日までに納入しない者
- ロ 休学者または学生海外留学規定による留学者で在籍料を所定の期日までに納入しない者
- ハ 第13条に定める在学年限を超えた者
- ニ 成業の見込みがないと認められる者
- ホ 休学者で休学期間満了前までに、所属学部長に復学を願い出ない者
- ヘ 他の大学、短期大学または高等専門学校に在籍していることが明らかになった者
- ト 薬学部、看護学部の学生で、同一年次の上位年次配当授業科目の履修要件を休学期間を除く2年間で充足せず、かつ成業の見込みがないと認められる者
- チ 死亡が確認された者

第9章 賞罰

(表彰)

第38条 成績の特に優秀な学生または表彰に価する行為があった学生は、表彰する。
2 表彰については、摂南大学学生の学園生活規定に定める。

(懲戒)

第39条 本大学の学則もしくは諸規定に違反し、または学生としての本分に反する行為をした者は学生委員会の議を経て、学長が懲戒する。
2 前項の懲戒の種類は、放学、停学、譴責および訓告とする。
3 前項の放学は、つぎの各号のいずれかに該当する者に対して行い、再入学は許可しない。
イ 性行不良で改善の見込みがない者
ロ 正当な理由がなくて出席常でない者
ハ 本大学の秩序を乱し、その他学生としての本分に著しく反した者
4 停学の期間は、在学年限に算入し、修業年限に算入しない。

第10章 入学検定料および学費等

(入学検定料)

第40条 入学検定料の額は、手数料収納に関する内規に定める。

(学費等)

- 第41条 学費は、入学金、授業料および教育充実費とし、その額は、別表第3のとおり定める。
- 2 休学中の学費は、休学開始日の属する期の翌期から免除する。ただし、別表第6に定める在籍料を学費免除の当該期から納入しなければならない。
 - 3 学生海外留学規定に定める留学を許可された場合の留学中の学費は、学費納入規定の定めるところにより免除する。ただし、別表第6に定める在籍料を学費免除の当該期から納入しなければならない。
 - 4 その他休学中および留学中の学費等の取扱いについては、学費納入規定に定める。

(既納の入学検定料および学費等)

- 第42条 既に納入された入学検定料、学費および在籍料は、返戻しない。ただし、学費納入規定に定めのある場合は、この限りでない。

(納期、納入方法等)

- 第43条 学費および在籍料の納期、納入方法等について必要な事項は、学費納入規定に定める。

第11章 研究生、科目等履修生、特別聴講学生、外国人留学生および帰国学生

(研究生)

- 第44条 本大学において、特定の専門事項について研究することを志願する者があるときは、選考のうえ研究生として入学を許可することができる。
- 2 研究生を志願することのできる者は、大学を卒業した者またはこれと同等以上の学力があると認められた者とする。
 - 3 研究生の在学期間は、1年以内とする。ただし、特別の理由がある場合は、1年を限度として、在学期間の延長を認めることがある。
 - 4 研究料の額は、別表第4のとおり定める。
 - 5 その他研究生については、研究生規定に定める。

(科目等履修生)

- 第45条 本大学において、特定の授業科目を履修することを志願する者があるときは、選考のうえ科目等履修生として入学を許可することができる。
- 2 科目等履修生を志願できる者は、高等学校を卒業した者またはそれと同等以上の学歴を有する者とする。
 - 3 授業科目を履修し、合格した者には所定の単位を与える。
 - 4 履修料の額は、別表第5のとおり定める。
 - 5 その他科目等履修生については、科目等履修生規定に定める。

(特別聴講学生)

- 第46条 他の大学、短期大学または高等専門学校の学生で、本大学において授業科目を履修することを志願する者があるときは、当該他校との協議に基づき、特別聴講学生としてこれを

許可することができる。

2 出願資格、履修料等その他必要な事項については、特別聴講学生規定に定める。

(外国人留学生)

第47条 外国人で、本大学に入学を志願する者があるときは、選考のうえ、学長が教授会の意見を聴いて、外国人留学生としてこれを許可することができる。

2 外国人留学生は、留学目的により第1種外国人留学生、第2種外国人留学生および第3種外国人留学生とし、つぎのとおりとする。

イ 第1種外国人留学生とは、大学の課程を修了して学士の学位を取得することを目的とし、1年次または相当年次に入学する者

ロ 第2種外国人留学生とは、特定の研究課題の研究を目的とする者

ハ 第3種外国人留学生とは、特定の授業科目を聴講することを目的とする者

3 外国人留学生の出願資格は、つぎのとおりとする。

イ 1種外国人留学生は、外国において学校教育における12年以上の課程を修了した者またはこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの

ロ 第2種外国人留学生は、外国において、学校教育における16年の課程を修了した者

ハ 第3種外国人留学生は、外国において、学校教育における12年の課程を修了した者

4 本条の規定は、外国人が一般の入学生として入学することを妨げるものではない。

(帰国学生)

第48条 帰国生徒で、本大学に入学を志願する者があるときは、選考のうえ、学長が教授会の意見を聴いて、帰国学生としてこれを許可することができる。

2 帰国生徒の出願資格は、日本国籍を有し、外国における高等学校に原則として2年以上継続して在学し、学校教育における12年以上の課程を修了した者とする。

3 本条の規定は、帰国生徒が一般の入学生として入学することを妨げるものではない。

(外国人留学生および帰国学生に関する授業科目の開設)

第49条 外国人留学生および帰国学生に関しては、日本語および日本事情等の授業科目を開設することができる。

(その他)

第50条 研究生、科目等履修生、特別聴講学生、外国人留学生および帰国学生について必要な事項は、別に定める。

第12章 公開講座

(公開講座)

第51条 社会人の教養・知識を高め、文化の向上に資するため、本大学に公開講座を開設する。

2 公開講座に関し必要な事項については、別に定める。

第13章 付属施設

(図書館)

第52条 本大学に、図書館を設け、本大学の職員および学生の研究に資する。

(情報メディアセンター)

第52条の2 本大学に、情報メディアセンターを設け、本大学の職員および学生の教育研究に資する。

(研究支援・社会連携センター)

第52条の3 本大学に、研究支援・社会連携センターを設け、本大学の産官学連携および地域連携の推進に資する。

(保健室)

第53条 本大学に、保健室を設け、本大学の職員および学生の保健衛生に資する。

(福利厚生施設)

第54条 本学園に、福利厚生施設を設け、本大学の職員および学生の福利厚生に資する。

第14章 その他

(学則の改廃)

第55条 本学則の改廃は、大学・大学院運営会議および教授会の意見を聴き、学長の承認を得て、理事会の議を経て理事長がこれを行う。

付 則

- 1 本学則施行に必要な細則は、別に定める。
- 2 本学則は、昭和50年4月1日から施行する。
- 3 この改正学則は、昭和50年9月9日から施行する。ただし、別表第3は、昭和51年度入学生から適用する。
- 4 この改正学則は、昭和52年4月1日から施行する。
- 5 イ この改正学則は、昭和54年4月1日から施行する。ただし、別表第3は、昭和54年度入学生の入学手続時から適用する。
ロ 昭和53年度以前の入学生の学費ならびに修得すべき授業科目および単位数は、なお従前の例による。
ハ 改正後の第3条の規定にかかわらず、各学科の収容定員は、昭和54年度230名、昭和55年度260名、昭和56年度290名とする。
- 6 イ この改正学則は、昭和55年4月1日から施行する。ただし、第44条第1項の改正後の別表第3は、昭和55年度入学生の入学手続時から適用する。
ロ 昭和54年度以前の入学生の学費ならびに修得すべき授業科目および単位数は、なお

従前の例による。

- 7 イ この改正学則は、昭和56年4月1日から施行する。ただし、第44条第1項の改正後の別表第3は、昭和56年度入学生の入学手続時から適用する。
- ロ 昭和55年度以前の入学生の学費ならびに修得すべき授業科目および単位数は、なお従前の例による。
- 8 イ この改正学則は、昭和57年4月1日から施行する。ただし、第41条第1項の改正後の別表第4は、昭和57年度入学生の入学手続時から適用する。
- ロ 昭和56年度以前の入学生の学費ならびに修得すべき授業科目および単位数は、なお従前の例による。
- 9 イ この改正学則は、昭和58年4月1日から施行する。ただし、改正後の第40条の別表第3は、昭和58年度入学志願者の出願手続時から、第41条第1項の別表第4は、昭和58年度入学生の入学手続時から適用する。
- ロ 昭和57年度以前の入学生の学費ならびに修得すべき授業科目および単位数は、なお従前の例による。
- 10 イ この改正学則は、昭和59年4月1日から施行する。ただし、改正後の第41条第1項の別表第4は、昭和59年度入学生の入学手続時から適用する。
- ロ 昭和58年度以前の入学生の学費ならびに修得すべき授業科目および単位数は、なお従前の例による。
- 11 イ この改正学則は、昭和60年4月1日から施行する。ただし、改正後の第41条第1項の別表第4は、昭和60年度入学生の入学手続時から適用する。
- ロ 昭和59年度以前の入学生の学費ならびに修得すべき授業科目および単位数は、なお従前の例による。
- 12 イ この改正学則は、昭和61年4月1日から施行する。ただし、改正後の第40条の別表第3は、昭和61年度入学志願者の出願手続時から、第41条第1項の別表第4は、昭和61年度入学生の入学手続時から適用する。
- ロ 昭和60年度以前の入学生の学費ならびに修得すべき授業科目および単位数は、なお従前の例による。
- ハ 第3条の規定にかかわらず、昭和61年度から昭和74年度までの間の入学定員は、つぎのとおりとする。

学部・学科	入学定員
工学部	
土木工学科	100名
建築学科	100名
電気工学科	110名
機械工学科	110名
経営工学科	110名
計	530名
国際言語文化学部	
国際言語文化学科	200名
経営情報学部	
経営情報学科	200名

薬学部	
衛生薬学科	120名
薬学科	60名
計	180名

- 13 イ この改正学則は、昭和62年4月1日から施行する。ただし、改正後の第41条第1項の別表第4は、昭和62年度入学生の入学手続時から適用する。
- ロ 昭和61年度以前の入学生の学費ならびに修得すべき授業科目および単位数は、なお従前の例による。ただし、薬学部の授業科目および単位数については、昭和60年度以降の入学生は前号を適用し、昭和59年度以前の入学生は昭和63年度まで原則としてなお従前の例による。
- 14 イ この改正学則は、昭和63年4月1日から施行する。ただし、改正後の第41条第1項の別表第4は、昭和63年度入学生の入学手続時から適用する。
- ロ 昭和62年度以前の入学生の学費ならびに修得すべき授業科目および単位数は、なお従前の例による。ただし、薬学部の授業科目および単位数については、昭和60年度以降の入学生は、前号を適用し、昭和59年度以前の入学生は、昭和63年度まで原則としてなお従前の例によるものとし、経営情報学部の昭和62年度以前の入学生の修得すべき授業科目および単位数については、前号を適用する。
- ハ 第3条の規定にかかわらず、昭和63年度から昭和74年度までの間の入学定員は、つぎのとおりとする。

学 部 ・ 学 科	入 学 定 員
工学部	
土木工学科	100名
建築学科	100名
電気工学科	110名
機械工学科	110名
経営工学科	110名
計	530名
国際言語文化学部	
国際言語文化学科	200名
経営情報学部	
経営情報学科	200名
薬学部	
衛生薬学科	120名
薬学科	60名
計	180名
法学部	
法律学科	170名

- 15 イ この改正学則は、1989年4月1日から施行する。ただし 改正後の第41条第1項および第2項の別表第4は、1989年度入学生の入学手続時から適用する。
- ロ 1988年度以前の入学生の学費ならびに工学部学生の修得すべき授業科目および単位数については、なお従前の例による。
- 16 イ この改正学則は、1990年4月1日から施行する。

- ロ 改正後の第40条の別表第3は、1990年度入学志願者の出願手続時から、第41条第1項および第2項の別表第4は、1990年度入学生の入学手続時から適用する。
 - ハ 1989年度以前の入学生の学費については、なお従前の例による。ただし、学費のうち施設費および設備費については、従前の金額に消費税法第29条に定める消費税額を加算するものとする。
 - ニ 1989年度以前の入学生にかかる教職課程ならびに工学部学生の修得すべき授業科目および単位数については、なお従前の例による。
- 17 イ この改正学則は、1991年4月1日から施行する。
- ロ 改正後の第40条の別表第3は、1991年度入学志願者の出願手続時から、第41条第1項および第2項の別表第4は、1991年度入学者の入学手続時から適用する。
 - ハ 1990年度以前の入学者の学費については、なお従前の例による。ただし、1989年度以前の入学者の学費のうち施設費および設備費については、従前の金額に消費税法第29条に定める消費税額を加算するものとする。
 - ニ 1990年度以前の入学者にかかる経営情報学部学生の修得すべき単位数については、なお従前の例による。
 - ホ 第3条の規定にかかわらず、1991年度から1999年度までの間の入学定員は、つぎのとおりとする。

学 部 ・ 学 科	入 学 定 員
工学部	
土木工学科	110名
建築学科	110名
電気工学科	120名
機械工学科	120名
経営工学科	120名
計	580名
国際言語文化学部	
国際言語文化学科	250名
経営情報学部	
経営情報学科	200名
薬学部	
衛生薬学科	120名
薬学科	60名
計	180名
法学部	
法律学科	220名

- 18 イ この改正学則は、1992年4月1日から施行する。
- ロ 第29条および第30条は、1992年2月26日から適用する。
 - ハ 第40条の別表第3は、1992年度入学志願者の出願手続時から、第41条第1項および第2項の別表第4は、1992年度入学者の入学手続時から適用する。
 - ニ 1991年度以前の入学者の学費については、なお従前の例による。ただし、学費のうち施設費および設備費については、従前の金額から消費税法第29条に定める消費税額を差し引いた額とし、消費税法の一部を改正する法律（平成3年5月15日法律第73号）の施行

日から適用する。

ホ 第3条の規定にかかわらず、1992年度から2002年度までの間の収容定員は、つぎのとおりとする。

学部・学科	収 容 定 員						
	1992年度	1993年度	1994年度	1995～1999年度	2000年度	2001年度	2002年度
工学部							
土木工学科	420名	430名	440名	440名	410名	380名	350名
建築学科	420名	430名	440名	440名	410名	380名	350名
電気工学科	460名	470名	480名	480名	440名	400名	360名
機械工学科	460名	470名	480名	480名	440名	400名	360名
経営工学科	460名	470名	480名	480名	440名	400名	360名
計	2220名	2270名	2320名	2320名	2140名	1960名	1780名
国際言語文化学部							
国際言語文化学科	900名	950名	1000名	1000名	950名	900名	850名
経営情報学部							
経営情報学科	950名	1100名	1250名	1400名	1250名	1100名	950名
薬学部							
衛生薬学科	480名	480名	480名	480名	480名	480名	480名
薬学科	240名	240名	240名	240名	240名	240名	240名
計	720名	720名	720名	720名	720名	720名	720名
法学部							
法律学科	780名	830名	880名	880名	830名	780名	730名

19 イ この改正学則は、1993年4月1日から施行する。

ロ 第41条第1項および第2項の別表第4は、1993年度入学者の入学手続時から適用する。

ハ 1992年度以前の入学者の学費については、なお従前の例による。

ニ 1992年度以前の入学者にかかる修得すべき授業科目および単位数ならびに教職課程については、なお従前の例による。

ホ 第3条の規定にかかわらず、1993年度から2002年度までの間の収容定員は、つぎのとおりとする。

学部・学科	収 容 定 員						
	1993年度	1994年度	1995年度	1996～1999年度	2000年度	2001年度	2002年度
工学部							
土木工学科	430名	440名	440名	440名	410名	380名	350名
建築学科	430名	440名	440名	440名	410名	380名	350名
電気工学科	470名	480名	480名	480名	440名	400名	360名
機械工学科	470名	480名	480名	480名	440名	400名	360名
経営工学科	470名	480名	480名	480名	440名	400名	360名
計	2270名	2320名	2320名	2320名	2140名	1960名	1780名
国際言語文化学部							
国際言語文化学科	950名	1000名	1000名	1000名	950名	900名	850名
経営情報学部							
経営情報学科	1000名	1050名	1100名	1000名	900名	800名	700名
経営環境情報学科	150名	300名	450名	600名	550名	500名	450名

計	1150名	1350名	1550名	1600名	1450名	1300名	1150名
薬学部							
衛生薬学科	480名	480名	480名	480名	480名	480名	480名
薬学科	240名	240名	240名	240名	240名	240名	240名
計	720名	720名	720名	720名	720名	720名	720名
法学部							
法律学科	830名	880名	880名	880名	830名	780名	730名

- 20 イ この改正学則は、1994年4月1日から施行する。
- ロ 第41条第1項および第2項の別表第4は、1994年度入学者の入学手続時から適用する。
- ハ 1993年度以前の入学者の学費については、なお従前の例による。
- 21 イ この改正学則は、1995年4月1日から施行する。
- ロ 第41条第1項および第2項の別表第4は、1995年度入学者の入学手続時から適用する。
- ハ 1994年度以前の入学者の学費については、なお従前の例による。
- ニ 1992年度以前の入学者（工学部および国際言語文化学部にあつては1994年度以前の入学者）にかかる修得すべき授業科目および単位数ならびに教職課程については、なお従前の例による。ただし、1992年度以前の薬学部の入学者が「薬物治療学」を専門教育科目の選択科目として履修し、単位を修得することができるものとする。
- 22 イ この改正学則は、1996年4月1日から施行する。
- ロ 第41条第1項および第2項の別表第4は、1996年度入学者の入学手続時から適用する。
- ハ 1995年度以前の入学者の学費については、なお従前の例による。
- ニ 修得すべき授業科目および単位数ならびに教職課程については、つぎのとおりとする。
- a 工学部の1994年度以前の入学者（電気工学科および経営工学科にあつては、1992年度以前の入学者）については、なお従前の例による。
- b 国際言語文化学部の1994年度以前の入学者については、なお従前の例による。
- c 経営情報学部の1992年度以前の入学者については、なお従前の例による。
- d 薬学部の1993年度以前の入学者については、なお従前の例による。
- e 法学部の1995年度以前の入学者については、なお従前の例による。
- 23 イ この改正学則は、1997年4月1日から施行する。
- ロ 第41条第1項および第2項の別表第4は、1997年度入学者の入学手続時から適用する。
- ハ 1996年度以前の入学者の学費については、なお従前の例による。
- ニ 修得すべき授業科目および単位数ならびに教職課程については、つぎのとおりとする。
- a 工学部の1992年度以前の入学者については、なお従前の例による。
- b 国際言語文化学部の1996年度以前の入学者については、なお従前の例による。
- c 薬学部の1996年度以前の入学者については、なお従前の例による。ただし、「海外英語研修」については、履修し、単位を修得できるものとする。
- d 法学部の1995年度以前の入学者については、なお従前の例による。ただし、「海外英語研修」については、1993年度以降の入学者が履修し、単位を修得できるものとする。
- 24 イ この改正学則は、1998年4月1日から施行する。
- ロ 修得すべき授業科目および単位数ならびに教職課程については、つぎのとおりとする。
- a 工学部の1992年度以前の入学者については、なお従前の例による。

- b 国際言語文化学部、経営情報学部および法学部の1997年度以前の入学者については、なお従前の例による。ただし、「教養特別講義Ⅰ～Ⅴ」については、1993年度以降の入学者が履修し、単位を修得できるものとする。
- c 薬学部の1997年度以前の入学者については、なお従前の例による。ただし、「人文総合A」および「人文総合B」については、履修し、単位を修得できるものとする。なお、「教養特別講義Ⅰ～Ⅴ」については、1993年度以降の入学者が履修し、単位を修得できるものとする。

25 この改正学則は、1999年4月1日から施行する。

26 イ この改正学則は、2000年4月1日から施行する。

- ロ 修得すべき授業科目および単位数ならびに教職課程については、つぎのとおりとする。
 - a 工学部の1999年度以前の入学者の卒業に必要な単位数および第28条第2項別表第2の適用は、なお従前の例による。ただし、土木工学科の卒業に必要な単位数のうち専門科目については、必修科目34単位、選択必修科目および選択科目のうちから46単位以上とする。
 - b 国際言語文化学部の1999年度以前の入学者については、なお従前の例による。
 - c 経営情報学部および薬学部の1997年度以前の入学者については、なお従前の例による。また、1999年度以前の入学者に対する第28条第2項別表第2の適用は、なお従前の例による。
 - d 法学部の1997年度以前の入学者については、なお従前の例による。
- ハ 第3条の規定にかかわらず、2000年度から2004年度までの間の入学定員はつぎのとおりとする。

学部・学科	入 学 定 員				
	2000年度	2001年度	2002年度	2003年度	2004年度
工学部					
土木工学科	104名	98名	92名	86名	80名
建築学科	110名	110名	110名	110名	110名
電気工学科	112名	104名	96名	88名	80名
機械工学科	120名	120名	120名	120名	115名
経営工学科	112名	104名	96名	88名	80名
計	558名	536名	514名	492名	465名
国際言語文化学部					
国際言語文化学科	240名	230名	220名	210名	200名
経営情報学部					
経営情報学科	250名	250名	250名	250名	250名
経営環境情報学科	139名	128名	117名	106名	100名
計	389名	378名	367名	356名	350名
薬学部					
衛生薬学科	120名	120名	120名	120名	120名
薬学科	60名	60名	60名	60名	60名
計	180名	180名	180名	180名	180名
法学部					
法律学科	220名	220名	220名	220名	220名

- 27 イ この改正学則は、2001年4月1日から施行する。
- ロ 修得すべき授業科目および単位数ならびに教職課程については、つぎのとおりとする。
- a 経営情報学部の1997年度以前の入学者の卒業に必要な単位数のうち基礎科目については、必修科目2単位、選択必修科目8単位以上とする。また、2000年度以前の入学者に対する第28条第2項別表第2および同条第3項別表第2の2の適用は、なお従前の例による。
- b 薬学部の1997年度以前の入学者については、なお従前の例による。また、1999年度以前の入学者に対する第28条第2項別表第2の適用は、なお従前の例による。
- ハ 第3条の規定にかかわらず、2001年度から2004年度までの間の入学定員はつぎのとおりとする。

学部・学科	入 学 定 員			
	2001年度	2002年度	2003年度	2004年度
工学部				
土木工学科	80名	80名	80名	80名
建築学科	110名	97名	80名	80名
電気工学科	80名	80名	80名	80名
機械工学科	110名	100名	80名	80名
経営工学科	80名	80名	80名	80名
計	460名	437名	400名	400名
国際言語文化学部				
国際言語文化学科	220名	200名	200名	200名
経営情報学部				
経営情報学科	230名	230名	230名	230名
経営環境情報学科	120名	120名	120名	120名
計	350名	350名	350名	350名
薬学部				
衛生薬学科	120名	120名	120名	120名
薬学科	60名	60名	60名	60名
計	180名	180名	180名	180名
法学部				
法律学科	220名	220名	214名	171名

- 28 イ この改正学則は、2002年4月1日から施行する。
- ロ 第2条の規定にかかわらず、工学部土木工学科、電気工学科および経営工学科は、2002年3月31日に当該学科に在学する者が当該学科に在学しなくなるまでの間、存続するものとする。この場合において、第22条第2項別表第1および第28条第3項別表第2の2中「都市環境システム工学科」とあるのは「土木工学科」と、「電気電子工学科」とあるのは「電気工学科」と、「マネジメントシステム工学科」とあるのは「経営工学科」とそれぞれ読み替えるものとする。
- 29 イ この改正学則は、2002年4月1日から施行する。ただし、改正後の第41条別表第4は、2002年度入学者の入学手続時から適用する。
- ロ 2001年度以前の入学者の学費については、なお従前の例による。
- ハ 2001年度以前の入学者（工学部の入学者を除く）の修得すべき授業科目および単位数

ならびに教職課程については、なお従前の例による。

- ニ 工学部土木工学科および電気工学科の2001年度以前の入学者の修得すべき専門科目および単位数ならびに教職課程については、工学部履修規定の定めるところによる。
- ホ 工学部建築学科および機械工学科の1999年度以前の入学者の教職課程については、なお従前の例による。
- へ 工学部経営工学科の2001年度以前の入学者の修得すべき専門科目および単位数ならびに教職課程については、なお従前の例による。
- ト 第3条の規定にかかわらず、2002年度および2003年度の入学定員は、つぎのとおりとする。

学部・学科	入学定員	
	2002年度	2003年度
工学部		
都市環境システム工学科	80名	80名
建築学科	80名	80名
電気電子工学科	80名	80名
機械工学科	80名	80名
マネジメントシステム工学科	80名	80名
計	400名	400名
国際言語文化学部		
国際言語文化学科	180名	180名
経営情報学部		
経営情報学科	196名	193名
経営環境情報学科	90名	80名
計	286名	273名
薬学部		
衛生薬学科	120名	120名
薬学科	100名	100名
計	220名	220名
法学部		
法律学科	200名	170名

- 30 イ この改正学則は、2003年4月1日から施行する。ただし、改正後の第19条第3項は2003年度転入学者の出願手続時から適用する。
- ロ 2002年度以前の入学者の教職課程については、なお従前の例による。
- ハ 2001年度以前の入学者（工学部土木工学科、電気工学科および経営工学科の入学者を除く）の修得すべき授業科目および単位数については、なお従前の例による。
- ニ 工学部土木工学科および電気工学科の2001年度以前の入学者の修得すべき専科目および単位数については、工学部履修規定の定めるところによる。
- ホ 工学部経営工学科の2001年度以前の入学者の修得すべき専門科目および単位数については、なお従前の例による。
- 31 イ この改正学則は、2004年4月1日から施行する。
- ロ 2003年度以前の入学者の教職課程については、なお従前の例による。
- ハ 工学部都市環境システム工学科、国際言語文化学部および法学部の2003年度以前の入学者の修得すべき授業科目および単位数については、なお従前の例による。

- ニ 工学部電気工学科、経営工学科、経営情報学部および薬学部の2001年度以前の入学者の修得すべき授業科目および単位数については、なお従前の例による。ただし、2001年度の薬学部の入学者は、「総合薬学演習」を履修し、単位を修得できるものとする。また、「卒業研究」を修得した場合の単位数は、必修科目の4単位とする。
- 32 イ この改正学則は、2005年4月1日から施行する。
- ロ 第2条の規定にかかわらず、国際言語文化学部国際言語文化学科は、2005年3月31日に当該学部学科に在学する者が当該学部学科に在学しなくなるまでの間、存続するものとする。この場合において、第22条第2項別表第1および第28条第3項別表第2の2中「外国語学部外国語学科」とあるのは「国際言語文化学部国際言語文化学科」と、第41条第1項別表第4、同条第2項別表第7、第44条第4項別表第5および第45条第4項別表第6中「外国語学部」とあるのは「国際言語文化学部」とそれぞれ読み替えるものとする。
- ハ 2004年度以前の入学者の教職課程については、なお従前の例による。
- ニ 国際言語文化学部の2004年度以前の入学者の修得すべき授業科目および単位数については、なお従前の例による。
- ホ 工学部都市環境システム工学科および法学部の2003年度以前の入学者の修得すべき授業科目および単位数については、なお従前の例による。
- 33 イ この改正学則は、2006年4月1日から施行する。ただし、改正後の第41条第1項別表第4は、2006年度入学者の入学手続時から適用する。
- ロ 第2条の規定にかかわらず、経営情報学部経営環境情報学科および薬学部衛生薬学科は、2006年3月31日に当該学科に在学する者が当該学科に在学しなくなるまでの間、存続するものとする。この場合において、当該学科に在学する者が修得すべき授業科目および単位数ならびに教職課程については、なお従前の例によるものとする。
- ハ 2005年度以前の入学者の学費については、なお従前の例による。
- ニ 2005年度以前の入学者の教職課程については、なお従前の例による。
- ホ 経営情報学部経営情報学科および薬学部薬学科の2005年度以前の入学者については、なお従前の例による。
- ヘ 工学部電気工学科および経営工学科の2001年度以前の入学者の修得すべき授業科目および単位数については、なお従前の例による。
- 34 イ この改正学則は、2006年4月1日から施行する。ただし、改正後の第41条第1項別表第3は、2006年度入学者の入学手続時から適用する。
- ロ 薬学部薬学科の2005年度以前の入学者については、なお従前の例による。
- ハ 外国語学部、経営情報学部経営情報学科および法学部の2005年度以前の入学者の修得すべき授業科目および単位数については、なお従前の例による。
- ニ 工学部各学科の2005年度以前の入学者にの修得すべき授業科目および単位数については、工学部履修規定に定める。
- 35 この改正学則は、2007年4月1日から施行する。
- 36 イ この改正学則は、2007年4月1日から施行する。
- ロ 2006年度以前の入学者の教職課程については、なお従前の例による。
- ハ 経営情報学部経営情報学科および法学部の2005年度以前の入学者の修得すべき授業科目および単位数については、なお従前の例による。

- ニ 外国語学部の2006年度以前の入学者の修得すべき授業科目および単位数については、なお従前の例による。
- ホ 工学部各学科の2006年度以前の入学者の修得すべき授業科目および単位数については、工学部履修規定に定める。
- 37 この改正学則は、2008年4月1日から施行する。
- 38 イ この改正学則は、2008年4月1日から施行する。
- ロ 外国語学部の2007年度以前の入学者の修得すべき授業科目および単位数については、なお従前の例による。
- ハ 工学部各学科の2007年度以前の入学者の修得すべき授業科目および単位数については、工学部履修規定に定める。
- 39 イ この改正学則は、2009年4月1日から施行する。
- ロ 工学部各学科の2008年度以前の入学者の修得すべき授業科目および単位数については、工学部履修規定に定める。
- 40 イ この改正学則は、2010年4月1日から施行する。
- ロ 第2条の規定にかかわらず、工学部都市環境システム工学科およびマネジメントシステム工学科は、2010年3月31日に在学する者が当該学科に在学しなくなるまでの間、存続するものとする。この場合において、当該学科に在学する者が修得すべき授業科目および単位数ならびに教職課程については、なお従前の例によるものとする。
- ハ 第2条の規定にかかわらず、経営情報学部経営学科および経営情報学科は、2010年3月31日に当該学部学科に在学する者が当該学部学科に在学しなくなるまでの間、存続するものとする。この場合において、第22条第3項別表第1および第28条第3項別表第2の2中「経営学部経営学科」とあるのは「経営情報学部経営学科」、「経営学部経営情報学科」とあるのは「経営情報学部経営情報学科」と、第41条第1項別表第3、同条第2項別表第6、第44条第4項別表第4および第45条第4項別表第5中「経営学部」とあるのは「経営情報学部」とそれぞれ読み替えるものとする。
- ニ 工学部建築学科、機械工学科および電気電子工学科の2009年度以前の入学者の修得すべき授業科目および単位数については、なお従前の例による。
- 41 イ この改正学則は、2010年4月1日から施行する。
- ロ 第2条の規定にかかわらず、工学部都市環境システム工学科、建築学科、電気電子工学科、機械工学科およびマネジメントシステム工学科は、2010年3月31日に在学する者が当該学科に在学しなくなるまでの間、存続するものとする。この場合において、当該学科に在学する者が修得すべき授業科目および単位数については、なお従前の例によるものとする。また、第41条第1項別表第3、同条第2項別表第6、第44条第4項別表第4および第45条第4項別表第5中「理工学部」とあるのは「工学部」とそれぞれ読み替えるものとする。
- 42 イ この改正学則は、2010年4月1日から施行する。
- ロ 2009年度以前の入学者の教職課程については、なお従前の例による。
- ハ 外国語学部、経営情報学部および法学部の2009年度以前の入学者の修得すべき授業科目および単位数については、各学部の履修規定に定める。
- 43 イ この改正学則は、2011年4月1日から施行する。

- ロ 2010年度以前の入学者の修得すべき授業科目および単位数については、各学部の履修規定に定める。
- 44 イ この改正学則は、2012年4月1日から施行する。
 - ロ 2011年度以前の入学者の修得すべき授業科目および単位数については、各学部の履修規定に定める。
- 45 イ この改正学則は、2013年4月1日から施行する。
 - ロ 2012年度以前の入学者の学費については、なお従前の例による。
- 46 イ この改正学則は、2014年4月1日から施行する。
 - ロ 2013年度以前の入学者の修得すべき授業科目および単位数については、各学部の履修規定に定める。
- 47 イ この改正学則は、2015年4月1日から施行する。
 - ロ 2014年度以前の入学者の修得すべき授業科目および単位数については、各学部の履修規定に定める。
- 48 イ この改正学則は、2016年4月1日から施行する。
 - ロ 2015年度以前の入学者の修得すべき授業科目および単位数については、各学部の履修規定に定める。
- 49 この改正学則は、2016年10月18日から施行する。
- 50 イ この改正学則は、2017年4月1日から施行する。ただし、改正後の第41条および別表第3は、2017年度入学者の入学手続時から適用する。
 - ロ 2016年度以前の入学者の学費については、なお従前の例による。
 - ハ 2016年度以前の入学者の修得すべき授業科目および単位数については、各学部の履修規定に定める。
- 51 イ この改正学則は、2018年4月1日から施行する。
 - ロ 2017年度以前の入学者の修得すべき授業科目および単位数については、各学部の履修規定に定める。
- 52 イ この改正学則は、2019年4月1日から施行する。
 - ロ 2018年度以前の入学者の教職課程については、なお従前の例による。
 - ハ 2018年度以前の入学者の修得すべき授業科目および単位数については、各学部の履修規定に定める。
- 53 イ この改正学則は、2020年4月1日から施行する。ただし、改定後の別表第3は、2020年度入学者の入学手続時から適用する。
 - ロ 2019年度以前の入学者の学費については、なお従前の例による。
 - ハ 2019年度以前の入学者の教職課程については、なお従前の例による。
 - ニ 2019年度以前の入学者の修得すべき授業科目および単位数については、各学部の履修規定に定める。
- 54 イ この改正学則は、2021年4月1日から施行する。
 - ロ 2020年度以前の入学者の修得すべき授業科目および単位数については、各学部の履修規定に定める。
 - ハ 経済学部経済学科の改正後の別表第1（教育課程表）については、2020年度入学者から適用する。

- ニ 農学部食品栄養学科の卒業に必要な単位数の変更については、2020年度入学者から適用する。
- 55 イ この改正学則は、2022年4月1日から施行する。ただし、改正後の別表第3は、2022年度入学者の入学手続時から適用する。
- ロ 2021年度以前の入学者の学費については、なお従前の例による。
 - ハ 2021年度以前の入学者の教職課程については、なお従前の例による。
 - ニ 2021年度以前の入学者の修得すべき授業科目および単位数については、各学部の履修規定に定める。
- 56 イ この改正学則は、2023年4月1日から施行する。ただし、改正後の別表第3は、2023年度入学者の入学手続時から適用する。
- ロ 2022年度以前の入学者の学費については、なお従前の例による。
 - ハ 2022年度以前の入学者の教職課程については、なお従前の例による。
 - ニ 2022年度以前の入学者の修得すべき授業科目および単位数については、各学部の履修規定に定める。
- 57 イ この改正学則は、2024年4月1日から施行する。
- ロ 2022年度以前の入学者の学費については、なお従前の例による。
 - ハ 2022年度以前の入学者の教職課程については、なお従前の例による。
 - ニ 2023年度以前の入学者の修得すべき授業科目および単位数については、各学部の履修規定に定める。

別表第1 教育課程表
1 理 工 学 部
イ 生命科学科

区 分	授 業 科 目	単位数
専 門 共 通 科 目 群	専 門 基 礎 系	生 物 学 概 論 ②
		物 理 科 学 ②
		生 物 無 機 化 学 ②
		生 物 統 計 学 ②
		生 命 科 学 ・ 統 計 情 報 処 理 ②
		生 命 科 学 と 倫 理 ②
		生 物 有 機 化 学 ②
		基 礎 生 物 学 2
	基 礎 生 命 系	生 化 学 I ②
		生 化 学 II ②
		微 生 物 学 ②
		生 化 学 III ②
		発 生 生 物 学 2
		ゲノムダイナミクス 2
	動 植 物 生 命 系	動 物 生 理 学 ②
		植 物 生 理 学 ②
		実 験 動 物 学 2
		実 験 植 物 学 2
	生 物 機 能 情 報 系	構 造 生 物 学 ②
		糖 鎖 工 学 ②
		タ ン パ ク 機 能 学 2
		細 胞 機 能 学 2
	医 薬 生 命 系	分 子 細 胞 制 御 学 2
		幹 細 胞 生 物 学 ②
		免 疫 学 ②
		薬 理 学 ②
	生 物 工 学 系	人 体 と 病 態 2
		生 化 学 検 査 学 2
		創 薬 科 学 2
		応 用 微 生 物 学 ②
	環 境 科 学 系	遺 伝 子 工 学 ②
		生 体 利 用 機 能 学 2
		バ イ オ テ ク ノ ロ ジ ー 入 門 2
		生 命 環 境 解 析 学 ②
	食 品 科 学 系	環 境 毒 性 学 ②
		環 境 分 析 化 学 2
		バ イ オ 環 境 工 学 2
		食 品 分 析 学 ②
		食 品 生 化 学 2
		機 能 性 食 品 科 学 2

区 分	授 業 科 目	単位数
専 門 科 目 群	実 験 演 習 系	物 理 学 実 験 ①
		生 物 学 基 礎 実 習 ①
		分 析 化 学 実 習 ①
		微 生 物 学 実 習 ①
		分 子 生 物 学 実 習 ①
		生 化 学 実 習 ①
		生 命 科 学 デ ー タ ベ ー ス 論 ・ 演 習 ①
		生 体 物 質 機 能 解 析 実 習 ①
		薬 理 学 実 習 ①
		基 礎 演 習 I ①
		基 礎 演 習 II ①
	研 究 基 礎 演 習 ①	
	卒 業 研 究 ⑥	
	総 合 研 究 コ ー ス 群	生 命 科 学 特 別 演 習 I ②
		生 命 科 学 特 別 演 習 II ②
		生 命 科 学 キ ャ リ ア 支 援 講 座 ②
		生 命 科 学 キ ャ リ ア 支 援 演 習 ②
	先 端 研 究 コ ー ス 群	先 端 生 命 科 学 実 習 I ②
		先 端 生 命 科 学 実 習 II ②
		先 端 生 命 科 学 概 論 ②
		先 端 生 命 科 学 英 語 読 解 ②
	警 務 シ ャ リ ー ス ト コ ー ス 群	理 科 教 育 法 I ②
理 科 教 育 法 II ②		
理 科 教 育 法 III ②		
理 科 教 育 法 IV ②		
生 命 科 学 理 科 教 育 演 習 ②		

区分	授業科目	単位数	
教 養 科 目	人文科学系	文学から学ぶ	2
		人間力と心理	2
		心理と社会	2
		実践の思想	2
		哲学から学ぶ	2
		歴史に学ぶ	2
		人文地理学	2
	社会科学系	日本の政治	2
		法学入門	2
		日本国憲法	2
		経済学入門	2
		企業経営	2
		社会の仕組み	2
		マーケティング	2
		産業社会と知的財産	2
		国際理解概論	2
		自然・科学技術系	産業技術史
	地学		2
	地学実験		2
	科学技術教養R		2
	科学技術教養A		2
	科学技術教養M		2
	科学技術教養E		2
	英語系	科学技術教養C	2
		科学技術教養T	2
		基礎英語 I a	1
		基礎英語 I b	1
		基礎英語 II a	1
基礎英語 II b		1	
実践英語 I a		1	
実践英語 I b		1	
実践英語 II a		1	
実践英語 II b		1	
英語基礎会話 I		1	
英語基礎会話 II		1	
技術英語		2	
科学英語		2	
外国語系	海外語学研修	2	
日本語系	日本語読解	1	
	日本語表現 I	1	
	コミュニケーション I	1	
	コミュニケーション II	1	
数理・情報系	情報リテラシー I	①	
デザイン系 キャリア	キャリアデザイン I	1	
	キャリアデザイン II	1	
	インターンシップ	2	

区分	授業科目	単位数	
教 養 科 目	スポーツ系	スポーツ科学実習 I	1
		スポーツ科学実習 II	1
		生涯スポーツ実習	1
		スポーツと健康	2
	地域志向系	地域と私	2
		北河内を知る	2
		ソーシャル・イノベーション実務総論	2
		摂南大学PBLプロジェクト I	2
		摂南大学PBLプロジェクト II	2
	共通基礎系	地域貢献実践演習	2
		大学教養入門	2
		大学教養実践	2
	教養特別系	就職実践基礎	1
		教養特別講義 I	2
		教養特別講義 II	2
		教養特別講義 III	2
		教養特別講義 IV	2
	外国人留学生対象科目	教養特別講義 V	2
		日本事情 F I	2
		日本事情 F II	2
		日本語読解 F I	1
		日本語読解 F II	1
		日本語文法 F I	1
		日本語文法 F II	1
		日本語表現作文 F I	1
		日本語表現作文 F II	1
		日本語総合 F I	1
		日本語総合 F II	1
専門日本語 F I		1	
専門日本語 F II		1	
日本語会話 F I		1	
日本語会話 F II	1		
帰国学生対象科目	日本事情 R I	2	
	日本事情 R II	2	
	日本語読解 R	1	
	日本語文法 R	1	
	日本語表現作文 R	1	
	日本語総合 R	1	
	専門日本語 R	1	
日本語会話 R	1		

備 考

1 卒業に必要な単位数

区 分	必 修 科 目	選 択 必 修 科 目	選 択 科 目	計
専 門 科 目	64単位	—	32単位以上	96単位以上
教 養 科 目	1単位	—	27単位以上	28単位以上
計	65単位	—	59単位以上	124単位以上

2 単位数を○で囲んだ授業科目は必修科目、他は選択科目を示す。

ロ 住環境デザイン学科

区分	授業科目	単位数		
専 門 基 礎 群 目	数 学 系	基礎数学演習	2	
		微積分 I	4	
		微積分 II	4	
		線形代数 I	2	
		線形代数 II	2	
		工業数学 I	2	
		工業数学 II	2	
		代数学	2	
		幾何学 I	2	
		幾何学 II	2	
		解析学	2	
		統計学	2	
		科 学 系	物理学基礎演習	2
	物理学		2	
	基礎力学演習 ①		①	
	力学		②	
	化学		2	
	生物学		2	
	理工学基礎実験		②	
	実 験 系	物理学実験	2	
		化学実験	2	
		情 報 系	統計情報処理	①
	共 通 系	住環境倫理	②	
		建築法規	②	
		住環境デザイン概論	②	
		デザイン方法論	②	
		図形科学	②	
		福祉住環境学	②	
		コミュニティプランニング	②	
		住環境マネジメント	②	
		居住安全計画	②	
		環 境 デ ザ イ ン 系	環境設備計画 A	②
			住環境工学 A	②
住環境工学 B			②	
住環境設備			②	
環境設備計画 B	②			
住環境材料学	②			
構造デザイン論	②			
ランドスケープデザイン論	2			
構造力学 I	②			
構造力学 II	②			

区分	授業科目	単位数		
専 門 目	空 間 デ ザ イ ン 系	建築一般構造学	②	
		住宅生産学	②	
		住生活学	②	
		建築計画学	②	
		地域・都市計画学	②	
		近代デザイン史	②	
		日本建築史	②	
		西洋建築史	②	
		インテリアデザイン論	②	
		建築デザイン論	②	
		演 習 系	空間表現演習 A	②
			空間表現演習 B	②
			造形演習	②
	基礎設計演習		②	
	設計演習 I		②	
	設計演習 II		②	
	設計演習 III		③	
	インテリアデザイン演習		②	
	環境工学演習		②	
	デザイン方法演習		③	
	サステナブルデザイン演習	③		
	ゼ ミ 系	ゼミ A	①	
		ゼミ B	①	
		ゼミ C	①	
		スタジオ	②	
	卒業研究	⑥		

区分	授業科目	単位数	
教養科目	人文科学系	文学から学ぶ	2
		人間力と心理	2
		心理と社会	2
		実践の思想	2
		哲学から学ぶ	2
		歴史に学ぶ	2
		人文地理学	2
	社会科学系	日本の政治	2
		法学入門	2
		日本国憲法	2
		経済学入門	2
		企業経営	2
		社会の仕組み	2
		マーケティング	2
		産業社会と知的財産	2
		国際理解概論	2
		産業技術史	2
	自然・科学技術系	地学	2
		地学実験	2
		科学技術教養V	2
		科学技術教養A	2
		科学技術教養M	2
		科学技術教養E	2
		科学技術教養C	2
	科学技術教養T	2	
	英語系	基礎英語 I a	1
		基礎英語 I b	1
		基礎英語 II a	1
		基礎英語 II b	1
		実践英語 I a	1
		実践英語 I b	1
		実践英語 II a	1
		実践英語 II b	1
英語基礎会話 I		1	
英語基礎会話 II		1	
技術英語		2	
科学英語		2	
外国語系		海外語学研修	2
日本語系	日本語読解	1	
	日本語表現 I	1	
	コミュニケーション I	1	
	コミュニケーション II	1	
数理・情報系	情報リテラシー I	①	
デザイン系	キャリアデザイン I	1	
	キャリアデザイン II	1	
	インターンシップ	2	

区分	授業科目	単位数	
教養科目	スポーツ系	スポーツ科学実習 I	1
		スポーツ科学実習 II	1
		生涯スポーツ実習	1
		スポーツと健康	2
	地域志向系	地域と私	2
		北河内を知る	2
		ソーシャル・イノベーション実務総論	2
		摂南大学PBLプロジェクトI	2
		摂南大学PBLプロジェクトII	2
	共通基礎系	地域貢献実践演習	2
		大学教養入門	2
		大学教養実践	2
	教養特別系	就職実践基礎	1
		教養特別講義 I	2
		教養特別講義 II	2
		教養特別講義 III	2
		教養特別講義 IV	2
	外国人留学生対象科目	教養特別講義 V	2
		日本事情 F I	2
		日本事情 F II	2
		日本語読解 F I	1
		日本語読解 F II	1
		日本語文法 F I	1
		日本語文法 F II	1
		日本語表現作文 F I	1
		日本語表現作文 F II	1
		日本語総合 F I	1
		日本語総合 F II	1
		専門日本語 F I	1
		専門日本語 F II	1
		日本語会話 F I	1
		日本語会話 F II	1
	帰国学生対象科目	日本事情 R I	2
日本事情 R II		2	
日本語読解 R		1	
日本語文法 R		1	
日本語表現作文 R		1	
日本語総合 R		1	
専門日本語 R		1	
日本語会話 R	1		

備 考

1 卒業に必要な単位数

区 分	必 修 科 目	選 択 必 修 科 目	選 択 科 目	計
専 門 科 目	44単位	53単位以上		97単位以上
教 養 科 目	1単位	—	26単位以上	27単位以上
計	45単位	79単位以上		124単位以上

2 単位数を○で囲んだ授業科目は必修科目、□で囲んだ授業科目は選択必修科目、他は選択科目を示す。

ハ 建築学科

区分	授業科目	単位数
専 門 基 礎 群 科 専 門 コ ア 群	基礎数学演習	2
	微積分 I	4
	微積分 II	4
	線形代数 I	2
	線形代数 II	2
	工業数学 I	2
	工業数学 II	2
	代数学	2
	幾何学 I	2
	幾何学 II	2
	解析学	2
	統計学	2
	物理学 I	2
	物理学 II	2
	基礎力学演習	1
	力学 I	2
	力学 II	2
	理工学基礎実験	②
	物理学実験	2
	情報メディアデザイン	2
	図学	②
	建築概論	②
	建築法規	②
	建築倫理	②
	建築情報処理基礎	②
	建築情報処理応用	②
	測量	②
	地球環境論	②
	建築総合演習	①
	建築マネジメント	②
	まちづくり論	②
	建築実務実践	②
建築計画基礎	②	
都市地域デザイン	②	
西洋建築史	②	
建築計画各論	②	
福祉すまい環境	②	
建築環境工学 I	②	
建築環境工学 II	②	
建築設備学	②	

区分	授業科目	単位数
専 門 コ ア 群 科 少 人 数 教 育 群 ゼ ミ 系	日本建築史	②
	近代建築史	②
	建築環境工学 III	②
	材料デザイン	②
	現代作品論	②
	構造力学・構造基礎	②
	構造力学 I	③
	構造力学 II	③
	建築材料	②
	建築施工	②
	鉄筋コンクリート構造	②
	構造設計	②
	鋼構造	②
	構造力学 III	②
	地盤工学	②
	耐震工学・振動学	②
	建築基礎演習 A	②
	建築基礎演習 B	②
	建築設計製図 A	②
	建築設計製図 B	②
	建築設計演習 A	②
	建築設計演習 B	②
	建築環境工学演習	②
	構造実験	②
	建築ゼミ I	①
	建築ゼミ II	①
	建築ゼミ III	③
卒業研究	⑥	

区分	授業科目	単位数		
教 養 目	人文科学系	文学から学ぶ	2	
		人間力と心理	2	
		心理と社会	2	
		実践の思想	2	
		哲学から学ぶ	2	
		歴史に学ぶ	2	
		人文地理学	2	
	社会科学系	日本の政治	2	
		法学入門	2	
		日本国憲法	2	
		経済学入門	2	
		企業経営	2	
		社会の仕組み	2	
		マーケティング	2	
		産業社会と知的財産	2	
	自然・科学技術系	国際理解概論	2	
		産業技術史	2	
		地学	2	
		地学実験	2	
		科学技術教養V	2	
		科学技術教養R	2	
		科学技術教養M	2	
		科学技術教養E	2	
	科	英語系	科学技術教養C	2
			科学技術教養T	2
			基礎英語I a	1
			基礎英語I b	1
			基礎英語II a	1
基礎英語II b			1	
実践英語I a			1	
実践英語I b			1	
実践英語II a			1	
実践英語II b			1	
英語基礎会話I			1	
英語基礎会話II			1	
外国語系	技術英語	2		
	科学英語	2		
日本語系	海外語学研修	2		
	日本語読解	1		
	日本語表現I	1		
	コミュニケーションI	1		
数理・情報系	コミュニケーションII	1		
	情報リテラシーI	①		
デザイン系	キャリアデザインI	1		
	キャリアデザインII	1		
	インターンシップ	2		

区分	授業科目	単位数	
教 養 目	スポーツ系	スポーツ科学実習I	1
		スポーツ科学実習II	1
		生涯スポーツ実習	1
		スポーツと健康	2
	地域志向系	地域と私	2
		北河内を知る	2
		ソーシャル・イノベーション実務総論	2
		摂南大学PBLプロジェクトI	2
		摂南大学PBLプロジェクトII	2
	共通基礎系	地域貢献実践演習	2
		大学教養入門	2
		大学教養実践	2
	教養特別系	就職実践基礎	1
		教養特別講義I	2
		教養特別講義II	2
		教養特別講義III	2
		教養特別講義IV	2
	外国人留学生対象科目	教養特別講義V	2
		日本事情F I	2
		日本事情F II	2
		日本語読解F I	1
		日本語読解F II	1
		日本語文法F I	1
		日本語文法F II	1
		日本語表現作文F I	1
		日本語表現作文F II	1
		日本語総合F I	1
		日本語総合F II	1
専門日本語F I		1	
専門日本語F II		1	
日本語会話F I		1	
日本語会話F II		1	
帰国学生対象科目	日本事情R I	2	
	日本事情R II	2	
	日本語読解R	1	
	日本語文法R	1	
	日本語表現作文R	1	
	日本語総合R	1	
	専門日本語R	1	
日本語会話R	1		

備 考

1 卒業に必要な単位数

区 分	必 修 科 目	選 択 必 修 科 目	選 択 科 目	計
専 門 科 目	56単位	40単位以上		96単位以上
教 養 科 目	1単位	—	27単位以上	28単位以上
計	57単位	67単位以上		124単位以上

2 単位数を○で囲んだ授業科目は必修科目、□で囲んだ授業科目は選択必修科目、他は選択科目を示す。

二 機械工学科

区分	授業科目	単位数		
専 門 基 礎 群 専 門 コ ア 群	基礎数学演習	2		
	微積分 I	4		
	微積分 II	4		
	数 学 系	線形代数 I	2	
		線形代数 II	2	
		工業数学 I	2	
		工業数学 II	2	
		統計学	2	
		代数学	2	
		幾何学 I	2	
		幾何学 II	2	
		解析学	2	
		応用数学 I	2	
		応用数学 II	2	
		科 学 系	基礎力学演習	1
			力学 I	2
			力学 II	2
	物理学 I		2	
	物理学 II		2	
	実 験 系		理工学基礎実験	①
		物理学実験	1	
		情 報 系	統計情報処理	1
	プログラミングベーシック		①	
	プログラミングアドバンス		1	
	専 門 コ ア 群	機械工学概論	②	
		機械力学 I	②	
		機械力学 II	②	
		制御工学 I	②	
		制御工学 II	2	
		流体工学 I	②	
		流体工学 II	②	
		材料力学 I	②	
		材料力学 II	②	
熱工学 I		②		
熱工学 II		②		
機械製作法		②		
生産加工学	②			
生産工学	②			

区分	授業科目	単位数		
専 門 コ ア 群 専 門 コ ア 群	機械設計学 I	②		
	機械設計学 II	②		
	共 通 系	機械材料学 I	②	
		機械材料学 II	2	
		技術者倫理	②	
		機械工学演習 I	②	
		機械工学演習 II	2	
		発 展 系	エネルギー変換工学	2
			ライフサイクル工学	2
	流体力学		2	
	弾性力学		2	
	ロボット工学		2	
	知能工学		2	
	航空宇宙工学		2	
	計測工学		2	
	インダストリアルデザイン		2	
	生体医用工学		2	
	機械と色彩		2	
	テクニカルドローイング		1	
	ものづくりの工学		2	
	デジタルエンジニアリング		2	
	品質工学	2		
	実 験 実 習 系	基礎機械工作実習	②	
		応用機械工作実習	②	
		機械工学実験	②	
		機械製図 I	②	
		機械製図 II	②	
		基礎機械設計	②	
		応用機械設計	②	
		ゼ ミ 系	機械創成基礎演習 I	①
			機械創成基礎演習 II	①
			機械創成応用演習	②
			研究基礎演習	①
卒業研究			⑥	

区分	授業科目	単位数	
教 養 科 目	人文科学系	文学から学ぶ	2
		人間力と心理	2
		心理と社会	2
		実践の思想	2
		哲学から学ぶ	2
		歴史に学ぶ	2
		人文地理学	2
	社会科学系	日本の政治	2
		法学入門	2
		日本国憲法	2
		経済学入門	2
		企業経営	2
		社会の仕組み	2
		マーケティング	2
		産業社会と知的財産	2
		国際理解概論	2
		自然・科学技術系	産業技術史
	地学		2
	地学実験		2
	科学技術教養V		2
	科学技術教養R		2
	科学技術教養A		2
	科学技術教養E		2
	科学技術教養C		2
	科学技術教養T	2	
	英語系	基礎英語 I a	1
		基礎英語 I b	1
		基礎英語 II a	1
基礎英語 II b		1	
実践英語 I a		1	
実践英語 I b		1	
実践英語 II a		1	
実践英語 II b		1	
英語基礎会話 I		1	
英語基礎会話 II		1	
技術英語		2	
科学英語		2	
外国語系	海外語学研修	2	
日本語系	日本語読解	1	
	日本語表現 I	1	
	コミュニケーション I	1	
	コミュニケーション II	1	
数理・情報系	情報リテラシー I	①	
デザイン系	キャリアデザイン I	1	
	キャリアデザイン II	1	
	インターンシップ	2	

区分	授業科目	単位数	
教 養 科 目	スポーツ系	スポーツ科学実習 I	1
		スポーツ科学実習 II	1
		生涯スポーツ実習	1
		スポーツと健康	2
	地域志向系	地域と私	2
		北河内を知る	2
		ソーシャル・イノベーション実務総論	2
		摂南大学PBLプロジェクト I	2
		摂南大学PBLプロジェクト II	2
	共通基礎系	地域貢献実践演習	2
		大学教養入門	2
		大学教養実践	2
	教養特別系	就職実践基礎	1
		教養特別講義 I	2
		教養特別講義 II	2
		教養特別講義 III	2
		教養特別講義 IV	2
	外国人留学生対象科目	教養特別講義 V	2
		日本事情 F I	2
		日本事情 F II	2
		日本語読解 F I	1
		日本語読解 F II	1
		日本語文法 F I	1
		日本語文法 F II	1
		日本語表現作文 F I	1
		日本語表現作文 F II	1
		日本語総合 F I	1
		日本語総合 F II	1
専門日本語 F I		1	
専門日本語 F II		1	
日本語会話 F I		1	
日本語会話 F II	1		
帰国学生対象科目	日本事情 R I	2	
	日本事情 R II	2	
	日本語読解 R	1	
	日本語文法 R	1	
	日本語表現作文 R	1	
	日本語総合 R	1	
	専門日本語 R	1	
日本語会話 R	1		

備 考

1 卒業に必要な単位数

区 分	必 修 科 目	選 択 必 修 科 目	選 択 科 目	計
専 門 科 目	49単位	47単位以上		96単位以上
教 養 科 目	1単位	—	27単位以上	28単位以上
計	50単位	74単位以上		124単位以上

2 単位数を○で囲んだ授業科目は必修科目、□で囲んだ授業科目は選択必修科目、他は選択科目を示す。

ホ 電気電子工学科

区分	授業科目	単位数			
専門科目	基礎群	基礎数学演習	2		
		微積分 I	4		
		微積分 II	4		
		線形代数 I	2		
		線形代数 II	2		
		電気数学 I	2		
		電気数学 II	2		
		代数学	2		
		幾何学 I	2		
		幾何学 II	2		
		解析学	2		
		応用数学 I	2		
		応用数学 II	2		
		共通群	物理学の基礎	3	
	物理学 I		2		
	物理学 II		2		
	理工学基礎実験		①		
	物理学実験		2		
	情報系		統計情報処理	1	
			Cプログラミング	①	
			専門群	電気情報工学概論	②
				フーリエ解析	2
	確率統計			2	
	電磁気学 I	②			
	電磁気学 II	2			
	電磁界理論	2			
	電気回路 I	②			
	電気回路 II	2			
論理回路基礎	2				
電子回路基礎	2				
電気電子計測	2				
品質管理	2				
電気回路CAD	2				
技術者への道	2				
技術者倫理	2				

区分	授業科目	単位数		
専門科目	電気系	電気機器 I	2	
		電気機器 II	2	
		電気エネルギー工学	2	
		電力工学	2	
		電力伝送	2	
		電気設備工学	2	
		パワーエレクトロニクス	2	
		電機設計製図	2	
		電気法規及び施設管理	2	
		電気工学演習	1	
		電子系	ロボット工学概論	2
			電子材料	2
			電子デバイス工学	2
			論理回路	2
	電子回路		2	
	I o T デバイス		2	
	制御システム		2	
	通信系		情報理論	2
			情報システム	2
			光エレクトロニクス	2
		通信工学 I	2	
		通信工学 II	2	
	通信ネットワーク	2		
	電波法規	2		
	情報系	アドバンストプログラミング	1	
		コンピュータシステム I	2	
		コンピュータシステム II	2	
		コンピュータ解析	2	
		アルゴリズムとデータ構造	2	
		グラフ理論	2	
		人工知能	2	
		I o T プロセッシング	2	
		情報工学演習	1	
		少人数教育群	電気情報基礎実験	②
			電気系実験 I	2
			情報系実験 I	2
			電気情報創成演習	②
	電気系実験 II		3	
	情報系実験 II		3	
	ゼミ系		基礎ゼミナール	①
			卒業研究基礎	①
			卒業研究	⑥

区分	授業科目	単位数	
人文科学系	文学から学ぶ	2	
	人間力と心理	2	
	心理と社会	2	
	実践の思想	2	
	哲学から学ぶ	2	
	歴史に学ぶ	2	
	人文地理学	2	
	日本の政治	2	
	法学入門	2	
	日本国憲法	2	
社会科学系	経済学入門	2	
	企業経営	2	
	社会の仕組み	2	
	マーケティング	2	
	産業社会と知的財産	2	
	国際理解概論	2	
	産業技術史	2	
	地学	2	
	地学実験	2	
	科学技術教養V	2	
自然科学・科学技術系	科学技術教養R	2	
	科学技術教養A	2	
	科学技術教養M	2	
	科学技術教養C	2	
	科学技術教養T	2	
	基礎英語I a	1	
	基礎英語I b	1	
	基礎英語II a	1	
基礎英語II b	1		
英語系	実践英語I a	1	
	実践英語I b	1	
	実践英語II a	1	
	実践英語II b	1	
	英語基礎会話I	1	
	英語基礎会話II	1	
	技術英語	2	
	科学英語	2	
	外国語系	海外語学研修	2
	日本語系	日本語読解	1
日本語表現I		1	
コミュニケーションI		1	
コミュニケーションII		1	
数理・情報系	情報リテラシーI	①	
デザイン系	キャリアデザインI	1	
	キャリアデザインII	1	
	インターンシップ	2	

区分	授業科目	単位数	
スポーツ系	スポーツ科学実習I	1	
	スポーツ科学実習II	1	
	生涯スポーツ実習	1	
	スポーツと健康	2	
地域志向系	地域と私	2	
	北河内を知る	2	
	ソーシャル・イノベーション実務総論	2	
	摂南大学PBLプロジェクトI	2	
	摂南大学PBLプロジェクトII	2	
地域貢献実践演習	地域貢献実践演習	2	
	共通基礎系	大学教養入門	2
	大学教養実践	2	
就職実践基礎	就職実践基礎	1	
	教養特別系	教養特別講義I	2
		教養特別講義II	2
教養特別講義III		2	
教養特別講義IV		2	
教養特別講義V		2	
外国人留学生対象科目	日本事情F I	2	
	日本事情F II	2	
	日本語読解F I	1	
	日本語読解F II	1	
	日本語文法F I	1	
	日本語文法F II	1	
	日本語表現作文F I	1	
	日本語表現作文F II	1	
	日本語総合F I	1	
	日本語総合F II	1	
	専門日本語F I	1	
	専門日本語F II	1	
	日本語会話F I	1	
	日本語会話F II	1	
帰国学生対象科目	日本事情R I	2	
	日本事情R II	2	
	日本語読解R	1	
	日本語文法R	1	
	日本語表現作文R	1	
	日本語総合R	1	
	専門日本語R	1	
	日本語会話R	1	

備 考

1 卒業に必要な単位数

区 分	必 修 科 目	選 択 必 修 科 目	選 択 科 目	計
専 門 科 目	20単位	76単位以上		96単位以上
教 養 科 目	1単位	—	27単位以上	28単位以上
計	21単位	103単位以上		124単位以上

2 単位数を○で囲んだ授業科目は必修科目、□で囲んだ授業科目は選択必修科目、他は選択科目を示す。

～ 都市環境工学科

区分	授業科目	単位数		
専 門 基 礎 群 科 目	基礎数学演習	2		
	微積分 I	4		
	微積分 II	4		
	数 学 系	線形代数 I	2	
		線形代数 II	2	
		工業数学 I	2	
		工業数学 II	2	
		代数学	2	
		幾何学 I	2	
		幾何学 II	2	
		解析学	2	
		基 礎 科 学 系	理工学基礎	①
			物理学	2
	化学		2	
	生物学		2	
	地質学		2	
	基礎力学演習		1	
	力学 I		2	
	力学 II		2	
	実験・情報 系		理工学基礎実験	①
			物理学実験	①
	専 門 群 科 目	統計情報処理	1	
		建 設 系	構造力学基礎・演習	③
			構造力学 I	2
			構造力学 II	2
			地盤力学 I・演習	③
		地盤力学 II	2	
		建設構造材料学	2	
		水理学 I・演習	③	
		水理学 II	2	
		環 境 計 画 系	自然・都市環境論	2
			地球環境学	2
環境衛生工学 I			2	
環境衛生工学 II			2	
リサイクル工学			2	
計画システム	2			
都市計画学	2			
環境地盤工学	2			

区分	授業科目	単位数		
専 門 コ ア 群 科 目	鋼構造学	2		
	コンクリート構造学	2		
	建設施工学	2		
	専 門 応 用 系	交通・道路工学	2	
		流域・沿岸域工学	2	
		構造物メンテナンス	2	
		防災・耐震工学	2	
		空間情報学・演習	3	
		コンストラクションマネージメント入門	2	
		シビックデザイン	2	
		倫理 法規系	技術者倫理	2
			建設環境法規	2
		建 築 系	建築・都市計画入門	2
	建築設計製図基礎		1	
	建築設計製図 I		1	
	建築設計製図 II		1	
	建築設計製図 III		1	
	測 量 ・ 実 験 系	測量学 I	②	
		測量学実習 I	①	
		測量学 II	②	
		測量学実習 II	①	
		建設工学実験	2	
	情報 専門系	環境工学実験	2	
		C A D 実習	①	
	専 門 演 習 系	構造力学 I 演習	1	
		コンクリート構造学演習	1	
		地盤力学 II 演習	1	
		水理学 II 演習	1	
		計画システム演習	1	
		少 人 数 教 育 群	実践日本語演習	1
	都市環境基礎演習		1	
	都市環境総合演習 I		1	
都市環境総合演習 II	1			
都市環境数理総合演習	1			
都市建設設計製図	1			
環境計画設計製図	1			
ゼ ミ 系	都市環境基礎ゼミ I		①	
	都市環境基礎ゼミ II	①		
	都市環境ゼミナール	①		
	卒業研究	⑥		

区分	授業科目	単位数	
人文科学系	文学から学ぶ	2	
	人間力と心理	2	
	心理と社会	2	
	実践の思想	2	
	哲学から学ぶ	2	
	歴史に学ぶ	2	
	人文地理学	2	
	社会科学系	日本の政治	2
		法学入門	2
		日本国憲法	2
		経済学入門	2
		企業経営	2
社会の仕組み		2	
マーケティング		2	
産業社会と知的財産		2	
国際理解概論		2	
自然・科学技術系	産業技術史	2	
	地学	2	
	地学実験	2	
	科学技術教養V	2	
	科学技術教養R	2	
	科学技術教養A	2	
	科学技術教養M	2	
科学技術教養E	2		
科学技術教養T	2		
英語系	基礎英語 I a	1	
	基礎英語 I b	1	
	基礎英語 II a	1	
	基礎英語 II b	1	
	実践英語 I a	1	
	実践英語 I b	1	
	実践英語 II a	1	
	実践英語 II b	1	
	英語基礎会話 I	1	
	英語基礎会話 II	1	
	技術英語	2	
	科学英語	2	
外国語系	海外語学研修	2	
日本語系	日本語読解	1	
	日本語表現 I	1	
	コミュニケーション I	1	
	コミュニケーション II	1	
数理・情報系	情報リテラシー I	①	
デザイン系	キャリアデザイン I	1	
	キャリアデザイン II	1	
	インターンシップ	2	

区分	授業科目	単位数	
スポーツ系	スポーツ科学実習 I	1	
	スポーツ科学実習 II	1	
	生涯スポーツ実習	1	
	スポーツと健康	2	
地域志向系	地域と私	2	
	北河内を知る	2	
	ソーシャル・イノベーション実務総論	2	
	摂南大学PBLプロジェクトI	2	
	摂南大学PBLプロジェクトII	2	
共通基礎系	地域貢献実践演習	2	
	大学教養入門	2	
	大学教養実践	2	
就職実践基礎	就職実践基礎	1	
	教養特別系	教養特別講義 I	2
		教養特別講義 II	2
教養特別講義 III		2	
教養特別講義 IV		2	
教養特別講義 V		2	
外国人留学生対象科目	日本事情 F I	2	
	日本事情 F II	2	
	日本語読解 F I	1	
	日本語読解 F II	1	
	日本語文法 F I	1	
	日本語文法 F II	1	
	日本語表現作文 F I	1	
	日本語表現作文 F II	1	
	日本語総合 F I	1	
	日本語総合 F II	1	
	専門日本語 F I	1	
	専門日本語 F II	1	
	日本語会話 F I	1	
	日本語会話 F II	1	
	帰国学生対象科目	日本事情 R I	2
日本事情 R II		2	
日本語読解 R		1	
日本語文法 R		1	
日本語表現作文 R		1	
日本語総合 R		1	
専門日本語 R		1	
日本語会話 R		1	

備 考

1 卒業に必要な単位数

区 分	必 修 科 目	選 択 必 修 科 目	選 択 科 目	計
専 門 科 目	28単位	69単位以上		97単位以上
教 養 科 目	1単位	—	26単位以上	27単位以上
計	29単位	95単位以上		124単位以上

2 単位数を○で囲んだ授業科目は必修科目、□で囲んだ授業科目は選択必修科目、他は選択科目を示す。

2 国際学部
国際学科

区分			授業科目	単位数	区分	授業科目	単位数		
専門科目	協働学習プロジェクト科目	文化構想領域	プロジェクト科目	表象と感性プロジェクト	2	社会協創領域	プロジェクト科目	言語コミュニケーションプロジェクト	2
			歴史学プロジェクト	2	メディアと現代社会プロジェクト		2		
			地理学プロジェクト	2	マイノリティ研究プロジェクト		2		
			比較文化プロジェクト	2	地域研究・国際政治プロジェクト		2		
			人間存在論プロジェクト	2	地域とビジネスプロジェクト		2		
			都市と周縁プロジェクト	2	国際貢献・ボランティアプロジェクト		2		
			国際社会と日本語プロジェクト	2	海外特別プロジェクトⅡ		2		
			基幹科目	表象文化論	2		ことばと社会	2	
		地域と歴史	2	メディア文化論	2				
		環境と社会	2	ジェンダーとマイノリティ	2				
		思想と文化	2	比較政治学	2				
		テクノロジーと人間	2	国際ビジネス論	2				
		異文化の理解	2	国際貢献論	2				
		多文化社会と日本語	2	Studies in Media and Communication	2				
		英語圏異文化交流論	2	Studies in Hospitality and Tourism	2				
		英語圏比較文化論	2	中国語で読み解く地域社会	2				
		中国語と生活文化	2	中国語圏から社会を考える	2				
		中国語圏の言語文化	2	スペイン語を通して学ぶヨーロッパ社会	2				
		スペインの言語と文化	2	スペイン語を通して学ぶラテンアメリカ社会	2				
		ラテンアメリカの言語と文化	2	インドネシア語で考える現代社会	2				
		インドネシア語と生活文化	2	マレー語で考える国際社会	2				
		インドネシア語と現代文化	2	実習・演習科目	課題解決型ワークショップ		2		
		国際共生領域	プロジェクト科目	地域研究プロジェクト(英語と諸地域)	2		ホスピタリティ実習演習	2	
				地域研究プロジェクト(東アジア世界)	2		海外インターンシップ	2	
	地域研究プロジェクト(スペイン語と諸地域)			2	海外実習	2			
	地域研究プロジェクト(東南アジア世界)			2	体験型特別実習	2			
	海外特別プロジェクトⅠ			2	文化社会科目	地域文化科目	世界を学ぶ	②	
	グローバルスタディーズ(英語と諸地域)			2		日本を学ぶ	②		
	グローバルスタディーズ(東アジア世界)		2	エリアスタディーズ 北アメリカ		2			
	グローバルスタディーズ(スペイン語と諸地域)		2	エリアスタディーズ ラテンアメリカ		2			
グローバルスタディーズ(東南アジア世界)	2		エリアスタディーズ 東アジア	2					
英語で考える環境問題	2		エリアスタディーズ 西アジア・南アジア	2					
英語で考える社会問題	2		エリアスタディーズ 東南アジア	2					
中国語を通して見る世界	2		エリアスタディーズ アフリカ	2					
中国語圏の地域と共生	2		エリアスタディーズ ヨーロッパ	2					
スペインから世界を見る	2		エリアスタディーズ オセアニア	2					
ラテンアメリカから世界を見る	2								
インドネシア語で世界を知る	2								
マレー語圏の地域を知る	2								

区分	授業科目	単位数
一般学芸科目	共同体論	2
	多文化共生論	2
	風土と地理	2
	国際関係論	2
	国際社会と経済	2
	メディアリテラシー論	2
	現代社会論	2
	地域と観光	2
	生物と環境	2
	ナショナリズム論	2
	視覚文化論	2
	Studies in Popular Culture	2
	Studies in Language and Society	2
	言語学芸科目	音声学
英語学概論		2
言語学		2
日本語史概説		2
英語意味論・語用論		2
日本語音韻論		2
英語構造論		2
日本語語彙論		2
日本語文法論		2
日本の文学		2
中国の文学		2
英語圏の文学		2
ホスピタリティ・エアライン科目		ホテルビジネス論
	ホスピタリティ基礎論	2
	ホスピタリティスキル論	2
	エアラインサービス論	2
	エアラインビジネス論	2
学芸員科目	ミュージアムへの招待	2
	ミュージアムコレクション論	2
	博物館資料保存論	2
	ディスプレイ論	2
	生涯学習論	2
	ミュージアムマネジメント論	2
	博物館情報・メディア論	2
	博物館教育論	2
博物館実習	3	

区分	授業科目	単位数	
日本語教員科目	日本語教授法Ⅰ	2	
	日本語教授法Ⅱ	2	
	日本語教授法Ⅲ	2	
	日本語教育実習演習	3	
	英語基礎科目	Speaking & Writing a	1
		Reading a	①
		TOEIC a	1
		Communicative English Grammar	1
		Speaking & Writing b	1
		Reading b	①
		TOEIC b	1
		Drama	1
		Japanese Society and Culture	①
		Academic Reading & Listening	1
Academic Writing Workshop		1	
Debate		1	
Presentation		1	
地域言語科目		英語	Topic Studies I a
	Topic Studies I b		1
	Discussion a		1
	Topic Studies II a		1
	Discussion b		1
	Topic Studies II b		1
	Advanced Academic Writing Workshop a		2
	英語	Lecture a	2
		Film Making	2
		Business English a	2
		Topic Studies III a	2
		Advanced Academic Writing Workshop b	2
		Lecture b	2
		Business English b	2
諸言語	Topic Studies III b	2	
	Comprehensive Studies a	2	
Comprehensive Studies b	2		
諸言語	諸言語輪講	①	

区分		授業科目	単位数
	中国語	中国語で読み解くⅠ	1
		中国語で表現するⅠ	1
		中国語で会話するⅠ	1
		中国語で読み解くⅡ	1
		中国語で表現するⅡ	1
		中国語で会話するⅡ	1
		中国語で読み解くⅢ	1
		中国語で表現するⅢ	1
		中国語で会話するⅢ	1
		中国語プレゼンテーション	2
	スペイン語	スペイン語文法Ⅰ	1
		スペイン語表現	1
		スペイン語会話Ⅰ	1
		スペイン語文法Ⅱ	1
		スペイン語読解	1
		スペイン語会話Ⅱ	1
		スペイン語圏社会講読（南欧）	1
		スペイン語圏社会講読（ラテンアメリカ）	1
		スペイン語文章構成	1
		スペイン語プレゼンテーション	2
	インドネシア語・マレー語	インドネシア語文法	1
		インドネシア語表現Ⅰ	1
		インドネシア語会話Ⅰ	1
		総合インドネシア語	1
		インドネシア語表現Ⅱ	1
		インドネシア語会話Ⅱ	1
		総合マレー語	1
		実践インドネシア語	1
		旅行インドネシア語	1
		インドネシア語・マレー語プレゼンテーション	2
	ゼミ・卒業研究	初年次ゼミナール	2
		基礎ゼミナール	2
		基礎演習Ⅰ	2
		基礎演習Ⅱ	2
		文化演習Ⅰ	2
		文化演習Ⅱ	2
卒業研究Ⅰ		2	
卒業研究Ⅱ		2	
人文科学系	人間の探求	2	
	文学から学ぶ	2	
	歴史に学ぶ	2	
	心理学	2	
社会科学系	法学入門	2	
	世界の政治	2	
	日本国憲法	2	
	経済学入門	2	
	経営学入門	2	

区分		授業科目	単位数
自然・科学技術系		住まいとデザイン	2
		食品機能学	2
		人体の構造と機能	2
		公衆衛生学	2
		科学技術教養	2
系 英語		基礎英語Ⅰa	①
		基礎英語Ⅱa	①
外国語系		韓国語Ⅰ	1
		韓国語Ⅱa	1
		韓国語Ⅱb	1
		韓国語Ⅲa	1
		韓国語Ⅲb	1
系 日本語		日本語表現Ⅰ	1
		日本語表現Ⅱ	1
		コミュニケーションⅠ	1
報系 数理工情		情報リテラシーⅠ	①
		情報リテラシーⅡ	①
キャリアデザイン系		キャリアデザインⅠ	①
		キャリアデザインⅡ	①
		エンプロイメントデザインⅠ	1
		エンプロイメントデザインⅡ	1
		インターンシップ	2
ツ系 スポー		スポーツ科学実習Ⅰ	1
		スポーツ科学実習Ⅱ	1
		スポーツと健康	2
地域志向系		地域と私	2
		北河内を知る	2
		ソーシャル・イノベーション実務総論	2
		摂南大学PBLプロジェクトⅠ	2
		摂南大学PBLプロジェクトⅡ	2
地域貢献実践演習	2		
共通基礎系		大学教養入門	2
		大学教養実践	2
		数的能力開発Ⅰ	1
		就職実践基礎	1
		時事問題Ⅰ	2
		時事問題Ⅱ	2
		教養特別系	
教養特別講義Ⅱ	2		
教養特別講義Ⅲ	2		
教養特別講義Ⅳ	2		
教養特別講義Ⅴ	2		

区分	授業科目	単位数
外国人留学生対象科目	日本事情F I	2
	日本事情F II	2
	日本語読解F I	1
	日本語読解F II	1
	日本語文法F I	1
	日本語文法F II	1
	日本語表現作文F I	1
	日本語表現作文F II	1
	日本語総合F I	1
	日本語総合F II	1
	専門日本語F I	1
	専門日本語F II	1
	日本語会話F I	1
	日本語会話F II	1

区分	授業科目	単位数
帰国学生対象科目	日本事情R I	2
	日本事情R II	2
	日本語読解R	1
	日本語文法R	1
	日本語表現作文R	1
	日本語総合R	1
	専門日本語R	1
	日本語会話R	1

1 卒業に必要な単位数

区分	必修科目	選択必修科目	選択科目	計
専門科目	24単位	29単位以上 ①協働学習プロジェクト科目26単位以上 (文化構想領域、国際共生領域、社会協創領域において選択したプロジェクト科目1科目と対応する基幹科目1科目、および接続科目2科目の合計4科目8単位以上、実習演習科目2単位以上) ②文化社会科目3単位以上 (中国語、スペイン語、インドネシア語・マレー語のうち、いずれかの言語から3単位)	29単位以上 ①地域文化科目、一般学芸科目および言語学芸科目から22単位以上 ②地域言語科目から7単位以上 (ただし、「English Language Honors Track」は地域文化科目、一般学芸科目および言語学芸科目から16単位以上、英語基礎科目から6単位以上、地域言語科目のうち英語科目から7単位以上)	92単位以上
教養科目	6単位	—	26単位以上 (人文科学系、社会科学系、自然科学技術系、地域志向系、教養特別系から16単位以上 外国語系、日本語系、キャリアデザイン系、スポーツ系、共通基礎系から10単位以上)	32単位以上
計	30単位	29単位以上	65単位以上	124単位以上

2 単位数を○で囲んだ授業科目は必修科目、□で囲んだ授業科目は選択必修科目を示す。他は選択科目を示す。

3 経営学部

イ 経営学科

		授 業 科 目	単 位 数
専 門 科 目	専 門 基 礎 科 目 群	経営学入門	②
		経営管理論	2
		地域産業論	2
		ビジネス情報処理Ⅰ	②
		ビジネス情報処理Ⅱ	②
		ICTビジネス入門	②
		情報倫理	2
		情報と職業	2
		マーケティング入門	2
		消費者心理学	2
		簿記入門	④
		財務諸表論入門	2
		経済学入門	2
		ミクロ経済学	2
		マクロ経済学	2
		経営統計学	2
	市場調査入門	2	
	マネジメントサイエンス	2	
	マ ネ ジ メ ン ト 群	経営組織論	2
		経営戦略論	2
		人的資源管理論	2
		組織行動論	2
		中小企業論	2
		現代企業論	2
		イノベーション論	2
		日本経営史	2
		外国経営史	2
		国際経営論Ⅰ	2
	国際経営論Ⅱ	2	
	I C T ビ ジ ネ ス 群	情報科学	2
		プログラミングⅠ	2
		プログラミングⅡ	2
		経営情報システムⅠ	2
		経営情報システムⅡ	2
		情報ネットワークとセキュリティ	2
		コンピュータデータ分析	2
		コンピュータサイエンス	2
		プロダクトデザインⅠ	2
		プロダクトデザインⅡ	2
		ビジネスシミュレーション	2
		流通情報システム	2

区 分	授 業 科 目	単 位 数
マ ー ケ テ ィ ン グ 群	消費者行動論	2
	マーケティング戦略論	2
	メディアと社会	2
	メディア戦略論	2
	ブランド論	2
	リテールマーケティング	2
	サービスマーケティング	2
	データサイエンスⅠ	2
	データサイエンスⅡ	2
	マーケティングリサーチⅠ	2
	マーケティングリサーチⅡ	2
	会 計 フ ァ イ ナ ン ス 群	商業簿記
工業簿記		2
財務会計論Ⅰ		2
財務会計論Ⅱ		2
連結会計論		2
管理会計論Ⅰ		2
管理会計論Ⅱ		2
会計情報分析論		2
ファイナンスⅠ		2
ファイナンスⅡ		2
応 用 ・ 実 践 科 目 群	コーポレート・ファイナンスⅠ	2
	コーポレート・ファイナンスⅡ	2
	ベンチャービジネス論	2
	ビジネスプランニング	2
	知的財産管理論	2
	企業分析(経営戦略ケース分析)	2
	ICTビジネス演習A	2
	ICTビジネス演習B	2
	ICTビジネス演習C	2
	マーケティングリサーチ演習A	2
	マーケティングリサーチ演習B	2
	マーケティング演習A	2
	マーケティング演習B	2
	調査実践演習Ⅰ	2
	調査実践演習Ⅱ	2
	中小企業会計論	2
企業分析(財務戦略ケース分析)	2	
経営学特講Ⅰ	2	
経営学特講Ⅱ	2	
経営学特講Ⅲ	2	

区分	授業科目	単位数	
法律科目群	民法		
	会社法	2	
	労働法	2	
	金融商品取引法	2	
	演習・卒業研究	基礎演習	②
		専門基礎演習	②
		専門演習Ⅰ	④
		専門演習Ⅱ	④
		卒業研究	④
	教養科目	人文科学系	心理学Ⅰ
心理学Ⅱ			2
哲学Ⅰ			2
哲学Ⅱ			2
倫理学			2
日本の歴史			2
世界の歴史			2
地誌学			2
人文地理学			2
文学から学ぶ			2
社会科学系		社会学Ⅰ	2
		社会学Ⅱ	2
		法学入門	2
		日本国憲法	2
		日本の政治	2
		世界の政治	2
自然・科学技術系		住まいとデザイン	2
		自然地理学	2
		環境と現代社会	2
		公衆衛生学	2
	産業技術史	2	
科学技術教養	2		
英語系外国語	基礎英語Ⅰa	1	
	基礎英語Ⅰb	1	
	基礎英語Ⅱa	1	
	基礎英語Ⅱb	1	
	実践英語Ⅰa	1	
	実践英語Ⅰb	1	
	実践英語Ⅱa	1	
	実践英語Ⅱb	1	
	ビジネスイングリッシュⅠ	1	
	ビジネスイングリッシュⅡ	1	
	英語コミュニケーションⅠ	1	
	英語コミュニケーションⅡ	1	
	アドバンスト英語Ⅰ	1	
	アドバンスト英語Ⅱ	1	
アドバンスト英語Ⅲ	1		

区分	授業科目	単位数	
外国語系	海外語学研修	2	
	ビジネス中国語基礎a	1	
	ビジネス中国語基礎b	1	
	ビジネス中国語基礎c	1	
	ビジネス中国語基礎d	1	
	中国語を聞くa	1	
	中国語を聞くb	1	
	中国語を話すa	1	
	中国語を話すb	1	
	日本語系	日本語表現Ⅰ	1
		日本語表現Ⅱ	1
		コミュニケーションⅠ	1
	数理工学系	数学基礎Ⅰ	1
		数学基礎Ⅱ	1
情報技術演習		1	
キャリアデザイン系	キャリアデザインⅠ	①	
	キャリアデザインⅡ	1	
	キャリアデザインⅢ	1	
	エンプロイメントデザインⅠ	1	
	エンプロイメントデザインⅡ	1	
	インターンシップ	2	
	ビジネス実務	2	
職業能力開発	2		
スポーツ系	スポーツ科学実習Ⅰ	1	
	スポーツ科学実習Ⅱ	1	
	生涯スポーツ実習	1	
	スポーツと健康	2	
地域志向系	地域と私	2	
	北河内を知る	2	
	ソーシャル・イノベーション実務総論	2	
	摂南大学PBLプロジェクトⅠ	2	
	摂南大学PBLプロジェクトⅡ	2	
地域貢献実践演習	2		
共通基礎系	大学教養入門	2	
	大学教養実践	2	
	数的能力開発Ⅰ	1	
	就職実践基礎	1	
教養特別系	教養特別講義Ⅰ	2	
	教養特別講義Ⅱ	2	
	教養特別講義Ⅲ	2	
	教養特別講義Ⅳ	2	
	教養特別講義Ⅴ	2	

区分	授業科目	単位数
外国語留学生対象科目	日本事情FⅠ	2
	日本事情FⅡ	2
	日本語読解FⅠ	1
	日本語読解FⅡ	1
	日本語文法FⅠ	1
	日本語文法FⅡ	1
	日本語表現作文FⅠ	1
	日本語表現作文FⅡ	1
	日本語総合FⅠ	1
	日本語総合FⅡ	1
	専門日本語FⅠ	1
	専門日本語FⅡ	1
	日本語会話FⅠ	1
	日本語会話FⅡ	1

区分	授業科目	単位数
帰国学生対象科目	日本事情RⅠ	2
	日本事情RⅡ	2
	日本語読解R	1
	日本語文法R	1
	日本語表現作文R	1
	日本語総合R	1
	専門日本語R	1
	日本語会話R	1

備考

1 卒業に必要な単位数

区分	必修科目	選択科目	計
専門科目	28単位	58単位以上	86単位以上
教養科目	英語系外国語、外国語系、日本語系、数理・情報系、スポーツ系	—	12単位以上 (選択必修科目4単位以上を含む英語系外国語または外国語系科目8単位以上を含む)
	人文科学系、社会科学系、自然・科学技術系、地域志向系、共通基礎系、教養特別系	—	20単位以上 (人文科学系・社会科学系ならびに自然・科学技術系各2単位以上を含む)
	キャリアデザイン系	1単位	2単位以上
	教養科目に定める卒業に必要な単位数を超えて修得した科目	—	3単位以上
計	29単位	95単位以上	124単位以上

- 2 単位数を○で囲んだ授業科目は必修科目、□で囲んだ授業科目は選択必修科目、他は選択科目を示す。

4 薬学 部
薬学 科

区分		授業科目		単位数	区分	授業科目		単位数	
専門科目	基礎系	基礎薬学物理	必	2	医療系	薬剤学Ⅳ	選必	2	
		基礎薬学化学	必	2		薬剤学Ⅴ	選必	2	
		基礎薬学生物Ⅰ	必	2		疾患治療学概論	選必	2	
		基礎薬学生物Ⅱ	必	2		消化器・血液疾患治療	選必	2	
	物理・化学系	薬学物理	選必	2		精神神経疾患治療学	選必	2	
		物理系薬学Ⅰ	選必	2		腎・生殖器疾患治療学	選必	2	
		物理系薬学Ⅱ	選必	2		循環器疾患治療学	選必	2	
		物理系薬学Ⅲ	選必	2		免疫疾患治療学	選必	2	
		物理系薬学Ⅳ	選必	2		感染症治療学	選必	2	
		物理系薬学Ⅴ	選必	2		悪性腫瘍治療学・緩和	選必	2	
		物理系薬学Ⅵ	選必	2		内分泌・代謝性疾患治	選必	2	
		薬学化学	選必	2		漢方処方学	選必	2	
		生命有機化学Ⅰ	選必	2		症候学	選必	2	
		生命有機化学Ⅱ	選必	2		臨床薬学Ⅰ	選必	2	
		臨床医薬品化学Ⅰ	選必	2		臨床薬学Ⅱ	選必	2	
		臨床医薬品化学Ⅱ	選必	2		臨床薬学Ⅲ	選必	2	
		生薬学	選必	2		臨床薬学Ⅳ	選必	2	
		天然物化学・薬用資源	選必	2		臨床薬学Ⅴ	選必	2	
		生物系	生理解剖学Ⅰ	選必		2	統計学・データサイエ	選必	2
			生理解剖学Ⅱ	選必		2	衛生系	栄養学	選必
	生化学		選必	2		毒性学		選必	2
	生体情報伝達学		選必	2		公衆衛生学		選必	2
	分子生物学Ⅰ		選必	2		環境衛生学		選必	2
	分子生物学Ⅱ		選必	2		衛生化学		選必	2
	微生物学		選必	2	実習・演習	早期体験学習		必	1
	免疫学		選必	2		薬学実習Ⅰ	必	2	
	医療系	薬理学Ⅰ	選必	2		薬学実習Ⅱ	必	2	
		薬理学Ⅱ	選必	2		臨床事前実習	必	2	
		薬剤学Ⅰ	選必	2		薬学臨床実習	必	20	
		薬剤学Ⅱ	選必	2		臨床事後演習	必	1	
		薬剤学Ⅲ	選必	2	薬学基礎演習Ⅰ	必	1		

区分	授業科目		単位数		
専門科目	実習・演習	薬学基礎演習Ⅱ	必 1		
		薬学演習Ⅰ	必 2		
		薬学演習Ⅱ	必 2		
		薬学演習Ⅲ	必 2		
		臨床薬学演習Ⅰ	必 1		
		臨床薬学演習Ⅱ	必 1		
		臨床薬学演習Ⅲ	必 1		
		臨床薬学演習Ⅳ	必 1		
		総合薬学演習	必 2		
		薬学研究Ⅰ	必 5		
		薬学研究Ⅱ	必 5		
		薬学研究Ⅲ	必 2		
		研究コース演習	選必 8		
		臨床コース演習	選必 8		
		薬局経営コース演習	選必 8		
		地域連携・学習支援コース演習	選必 8		
		教養科目	人文・社会科学系	心理学	選 2
				法学	選 2
経済学概説	選 2				
ジェンダーとダイバーシティ	選 2				
自然・情報科学系	生命倫理学		選必 2		
	臨床心理学		選必 2		
	情報リテラシー		選必 1		
	データサイエンス基礎		選必 1		
	数学基礎		選 1		
	数学		選 2		
国際教養系	英語基礎		選必 1		
	英語実践		選必 1		
	英語コミュニケーションⅠ		選必 1		
	英語コミュニケーションⅡ		選必 1		
	中国語基礎		選 1		
	韓国語基礎		選 1		
	日本語基礎		選 1		
	薬学英語		選必 2		
	医療英会話	選必 2			
海外語学研修	選 2				

区分	授業科目		単位数	
教養科目	外国人留学生対象科目	日本事情 FⅠ	選 2	
		日本事情 FⅡ	選 2	
		日本語読解 F	選 1	
		日本語文法 F	選 1	
		日本語表現作文 F	選 1	
		日本語総合 F	選 1	
		専門日本語 F	選 1	
		日本語会話 FⅠ	選 1	
		日本語会話 FⅡ	選 1	
		帰国学生対象科目	日本事情 RⅠ	選 2
			日本事情 RⅡ	選 2
			日本語読解 R	選 1
	日本語文法 R		選 1	
	日本語表現作文 R		選 1	
	日本語総合 R		選 1	
	専門日本語 R		選 1	
	日本語会話 R		選 1	
	人間力系		初年次ゼミ	必 1
			スポーツ科学実習Ⅰ	選 1
		キャリアデザイン基礎	選 1	
		教養特別	教養特別講義Ⅰ	選 2
	教養特別講義Ⅱ		選 2	
	教養特別講義Ⅲ		選 2	
	教養特別講義Ⅳ		選 2	
	教養特別講義Ⅴ		選 2	

備 考

1 卒業に必要な単位数

区分			計
専 門 科 目	必 修 科 目	62 単位	166 単位以上
	選 択 必 修 科 目	104 単位以上	
教 養 科 目	必 修 科 目	1 単位	20 単位以上
	選 択 必 修 科 目	7 単位以上	
	選 択 科 目	12 単位以上	
計			186 単位以上

2 「必」の授業科目は必修科目、「選必」の授業科目は選択必修科目、「選」の授業科目は選択科目を示す。

3 専門科目の「総合薬学演習」には、最終試験を含む。

5 法 学 部
法律学科

区分	分野	授業科目	単位数	コース別履修区分			
				法律学特修	企業法務	地域政策	スポーツ法政策
	基礎法学	法学概論Ⅰ	2	○	○	○	○
		法学概論Ⅱ	2	○	○	○	○
		法哲学総論	2	□		□	
		法哲学各論	2	□			
		西洋法思想史	2	□	□		□
		日本法思想史	2	□	□		
		日本法制史	2	□	□	□	□
		東洋法制史	2		□		□
		西洋法制史	2	□	□	□	□
		比較法史	2				□
		法と社会	2		□	□	□
		ジェンダー法	2	□	□	□	□
		英米法	2		□		
		リーガル・リサーチ	2	□	□	□	
		司法制度論	2	□			
	憲法・行政法	憲法Ⅰ(人権総論)	2	□	□	□	□
		憲法Ⅱ(人権各論)	2	□	□	□	□
		憲法Ⅲ(統治機構)	2	□	□	□	□
		行政法Ⅰ(行政過程)	2	□		□	
		行政法Ⅱ(行政救済)	2	□			
		地方自治法	2	□		□	□
		環境法	2	□	□	□	
		租税法Ⅰ(総論)	2	□	□	□	
	租税法Ⅱ(各論)	2	□	□	□		
	刑事法	刑法ⅠA(総論①)	2	□	□	□	□
		刑法ⅠB(総論②)	2	□	□	□	□
		刑法ⅡA(各論①)	2	□	□	□	□
		刑法ⅡB(各論②)	2	□	□	□	□
		経済刑法	2		□		
		刑事訴訟法Ⅰ(捜査・公訴)	2	□		□	□
		刑事訴訟法Ⅱ(公判・証拠法)	2	□		□	□
		少年法	2	□			
		刑事政策Ⅰ(犯罪原因論)	2			□	□
刑事政策Ⅱ(犯罪対策論)		2			□	□	

区分	分野	授業科目	単位数	コース別履修区分			
				法律学特修	企業法務	地域政策	スポーツ法政策
	民事法	民法ⅠA(総則①)	2	□	□	□	□
		民法ⅠB(総則②)	2	□	□	□	□
		民法ⅡA(物権)	2	□	□	□	□
		民法ⅡB(担保物権)	2	□	□		
		民法ⅢA(債権総論①)	2	□	□		
		民法ⅢB(債権総論②)	2	□	□		
		民法ⅣA(債権各論①)	2	□	□	□	□
		民法ⅣB(債権各論②)	2	□	□	□	□
		民法ⅣC(不法行為)	2	□	□	□	□
		民法ⅤA(親族)	2	□	□	□	□
		民法ⅤB(相続)	2	□	□	□	□
		消費者法	2	□	□	□	□
		民事訴訟法Ⅰ(裁判の流れ)	2	□	□		
		民事訴訟法Ⅱ(判決の効力)	2	□	□		
		民事執行・保全法	2	□	□		
		倒産法	2	□	□		
		国際私法	2	□	□		
		国際家族法	2	□			
		国際財産法	2		□		
		商事法	商法Ⅰ(総則・商行為)	2	□	□	□
	商法ⅡA(会社①)		2	□	□		
	商法ⅡB(会社②)		2	□	□		
	商法Ⅲ(保険)		2		□		
	商法Ⅳ(有価証券)		2	□	□		
	金融商品取引法		2		□		
	経済法		2		□		
	知的財産法		2		□		
	国際取引法		2		□		
	社会法		労働法Ⅰ(労働保護)	2	□	□	□
		労働法Ⅱ(労働組合)	2	□	□		
		社会保障法	2		□	□	□
	国際法	国際法Ⅰ(総論)	2	□	□	□	□
		国際法Ⅱ(各論)	2	□	□	□	
国際人権法		2	□		□		
国際機構法		2	□				

区分	分野	授業科目	単位数	コース別履修区分			
				法律学特修	企業法務	地域政策	スポーツ法政策
専門科目	政治学	日本の政治	2		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		日本政治史	2			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		政治学原論	2			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		政治過程論	2			<input type="checkbox"/>	
		比較政治	2			<input type="checkbox"/>	
		世界の政治	2		<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
		国際関係論	2		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		国際関係史	2			<input type="checkbox"/>	
		グローバル社会論	2		<input type="checkbox"/>		
		西洋政治思想史	2			<input type="checkbox"/>	
	政策学	公共政策論	2			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		行政学	2			<input type="checkbox"/>	
		地方自治論	2			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		地域政策論	2			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		地方財政論	2			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		地域政策研究 I	2			<input type="checkbox"/>	
		地域政策研究 II	2			<input type="checkbox"/>	
	スポーツ法政策	スポーツ法学	2		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		スポーツビジネスと法	2		<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
		スポーツ政策論	2			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		スポーツ文化論	2				<input type="checkbox"/>
		地域とスポーツ	2			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		スポーツマネジメント	2				<input type="checkbox"/>
		グローバル社会とスポーツ	2				<input type="checkbox"/>
	法律学特修特別講義	法律学特修特別講義 I	2	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	
		法律学特修特別講義 II	2	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	
		法律学特修特別講義 III	2	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	
		法律学特修特別講義 IV	2	<input type="checkbox"/>			
		法律学特修特別講義 V	2	<input type="checkbox"/>			
	スポーツ法政策特別講義	フィットネストレーニングの理論と実際	2				<input type="checkbox"/>
		ヘルスエクササイズ の理論と実際	2				<input type="checkbox"/>
		スポーツ医学の理論 と実際	2				<input type="checkbox"/>
		体力測定とスポーツ 相談	2				<input type="checkbox"/>

区分	分野	授業科目	単位数	コース別履修区分			
				法律学特修	企業法務	地域政策	スポーツ法政策
専門科目	外国人留学生対象科目	日本の法事情 F I	2	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		日本の法事情 F II	2	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		日本の法事情 F III	2	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		日本の法事情 F IV	2	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		日本の法事情 F V	2	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		日本の法事情 F VI	2	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	演習・卒業研究	法学基礎演習 I	2	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		法学基礎演習 II	2	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		プレ専門演習	2	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		専門演習 I	2	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		専門演習 II	4	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		卒業研究	4	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

区分	分野	授業科目	単位数	
教養科目	人文・社会科学系	文学	2	
		心理学	2	
		哲学	2	
		倫理学	2	
		日本史概説	2	
		世界史概説	2	
		地誌学	2	
		人文地理学	2	
		社会学	2	
		経済学概説	2	
		経営学概説	2	
		自然・情報科学系	自然地理学	2
			公衆衛生論	2
	生物と環境		2	
	情報リテラシー		1	
	データサイエンス基礎		1	
	データサイエンス実践		2	
	数学基礎		1	
	国際教養系	英語基礎	1	
		英語実践	1	
		英語コミュニケーションⅠ	1	
		英語コミュニケーションⅡ	1	
		英語総合Ⅰ	1	
		英語総合Ⅱ	1	
		中国語基礎	1	
		韓国語基礎	1	
		日本語基礎	1	
		日本語表現	1	
	海外語学研修	2		
	人間力系	スポーツ科学実習Ⅰ	1	
		スポーツ科学実習Ⅱ	1	
		スポーツ科学実習Ⅲ	1	
		スポーツ教育学基礎	2	
		スポーツ科学概論	2	
		スポーツ指導者入門	2	
		スポーツトレーニングの基礎	2	
		発育発達論	2	
		スポーツ心理学	2	
		スポーツ栄養学	2	
		スポーツ医学の基礎	2	
		スポーツの歴史	2	

区分	分野	授業科目	単位数
教養科目	人間力系	スポーツ教育学	2
		◇スポーツプログラミング	2
		地域学入門	2
		北河内のまちづくりと行政	2
		摂南大学PBLプロジェクトⅠ	2
		摂南大学PBLプロジェクトⅡ	2
		地域貢献実践演習	2
		キャリアデザイン基礎	1
		キャリアデザイン展開	1
		キャリアデザイン実践	1
		エンプロイメントデザイン	1
		インターンシップ基礎	2
		インターンシップ実践	1
		大学教養基礎Ⅰ	2
		大学教養基礎Ⅱ	2
		大学教養入門	2
		数的能力開発Ⅰ	1
		数的能力開発Ⅱ	1
		就職実践基礎	1
		教養特別系	教養特別講義Ⅰ
	教養特別講義Ⅱ		2
	教養特別講義Ⅲ		2
	教養特別講義Ⅳ		2
	教養特別講義Ⅴ		2
	外国人留学生対象科目		日本事情FⅠ
	日本事情FⅡ	2	
	日本語読解F	1	
	日本語文法F	1	
	日本語表現作文F	1	
	日本語総合F	1	
	専門日本語F	1	
	日本語会話FⅠ	1	
	日本語会話FⅡ	1	
	日本語会話応用FⅠ	1	
	日本語会話応用FⅡ	1	
	日本語会話応用FⅢ	1	
	日本語会話応用FⅣ	1	
	日本語会話応用FⅤ	1	
	日本語会話応用FⅥ	1	
	日本語会話応用FⅦ	1	
	日本語会話応用FⅧ	1	

区分	分野	授業科目	単位数
教養科目	外国人留学生対象科目	日本語会話応用 F IX	1
		日本語会話応用 F X	1
		日本語会話応用 F XI	1
	帰国学生対象科目	日本事情 R I	2
		日本事情 R II	2
		日本語読解 R	1
		日本語文法 R	1
		日本語表現作文 R	1
		日本語総合 R	1
		専門日本語 R	1
		日本語会話 R	1

備 考

1 卒業に必要な単位数

区分		法律学特修 コース	企業法務 コース	地域政策 コース	スポーツ法 政策コース
専門科目	必修科目	20 単位			
	選択必修科目	40単位以上			
	選択科目	26単位以上			
	合計	86単位以上			
教養科目	選択必修 科目	自然・情報科学系	1 単位以上		
		国際教養系	3単位以上		
		人間力系	1単位以上		
	選択科目	人文・社会科学系	2単位以上		
		自然・情報科学系または人間力系	1単位以上		
		小計	26単位以上		
	合計	38単位以上			
総計	124単位以上				

2 専門科目のコース別履修区分の表示において、○は必修科目、□は選択必修科目、その他は選択科目を示す。また、教養科目の単位数を○で囲んだ授業科目は必修科目、□で囲んだ授業科目は選択必修科目、他は選択科目を示す。

3 各コースの所定単位数を超えて修得した専門科目の選択必修科目の単位数は、専門科目の選択科目の単位数として算入する。

4 授業科目の前に△を付した科目は、進級および卒業要件に含むことができない科目を示す。

6 経済学部
経済学科

区分	授業科目	単位数
専 門 科 目	経済学入門 (エコノミックリテラシー)	②
	地域経済入門	②
	観光学入門	②
	国際経済学入門	②
	会計学入門	2
	日本経済史	2
	日本経済論	2
	経営学	2
	経済地理	2
	ミクロ経済学Ⅰ	②
	ミクロ経済学Ⅱ	2
	マクロ経済学Ⅰ	②
	マクロ経済学Ⅱ	2
	社会経済学Ⅰ	②
	社会経済学Ⅱ	2
	統計学	②
	統計学演習	2
	経済データサイエンス入門	2
	労働経済学	2
	経済思想史	2
	世界経済史	2
	簿記原理Ⅰ	2
	簿記原理Ⅱ	2
	財政学	2
	金融論	2
	ゲーム理論	2
	計量経済学	2
	管理会計	2
	◎ 公共政策論	2
	◎ 関西経済論	2
	◎ 地方財政論	2
	地域金融論	②
	文化政策論	②
地方自治論	2	
地域保健医療	2	
日本産業史	2	
中小企業論	2	
地域経済実践演習	2	

区分	授業科目	単位数	
専 門 科 目	観 光 経 済 群	◇ 観光経済論	2
		◇ 観光人材論	2
		◇ 観光マーケティング論	2
		観光産業政策論	②
		観光資源論	②
		観光ビジネス英語	2
		航空産業論	2
		レジャー産業論	2
		宿泊産業論	2
		観光経済実践演習	2
	国 際 経 済 群	△ 貿易論	2
		△ 国際投資論	2
		△ 開発経済学	2
		国際協力論	②
		国際経済の新動向	②
		地域統合論	2
		農業・資源経済学	2
		国際金融論	2
		グローバルマーケティング	2
		国際経済実践演習	2
	ア ド バ ン ス ト 科 目 群	摂南経済ゲストレクチャー	2
		地球環境経済	2
		産業組織論	2
		ファイナンシャル・プランニング	2
		現代ファイナンス論	2
		交通経済論	2
		サービス産業論	2
		公共経済学	2
		公益会計論	2
		社会保障論	2
		世界観光事情	2
		民法	2
		商法	2
会社法	2		
行政法	2		
労働法	2		
経済学特別講義Ⅰ	2		
経済学特別講義Ⅱ	2		
経済学特別講義Ⅲ	2		
卒 業 研 究 ・ 演 習	基礎演習	④	
	専門演習Ⅰ	④	
	専門演習Ⅱ	④	
	卒業研究	④	

区分	授業科目	単位数	
教 養 科 目	人文科学系	心理学 I	2
		心理学 II	2
		哲学 I	2
		哲学 II	2
		日本の歴史	2
		世界の歴史	2
		地誌学	2
		人文地理学	2
	社会科学系	社会学	2
		法学入門	2
		日本国憲法	2
		日本の政治	2
		世界の政治	2
	自然・科学技術系	自然地理学	2
		教養生物	2
		公衆衛生学	2
		科学技術教養	2
	英語系	基礎英語 I a	1
		基礎英語 II a	1
		実践英語 I a	1
		実践英語 II a	1
		ビジネスイングリッシュ I	1
		ビジネスイングリッシュ II	1
		英語基礎会話 I	①
		英語基礎会話 II	①
	外国語系	海外語学研修	2
	日本語系	日本語表現 I	1
		日本語表現 II	1
	数理・情報系	数学基礎 I	1
		数学基礎 II	1
		情報リテラシー I	①
		情報リテラシー II	①
	キャリアデザイン系	キャリアデザイン I	①
キャリアデザイン II		1	
キャリアデザイン III		1	
エンプロイメントデザイン I		1	
エンプロイメントデザイン II		1	
インターンシップ		2	
ビジネス実務		2	
スポーツ系	スポーツ科学実習 I	1	
	スポーツ科学実習 II	1	

区分	授業科目	単位数	
教 養 科 目	地域志向系	地域と私	2
		北河内を知る	2
		ソーシャル・イノベーション実務総論	2
		摂南大学PBLプロジェクト I	2
		摂南大学PBLプロジェクト II	2
		地域貢献実践演習	2
		共通基礎系	大学教養入門
	大学教養実践		2
	数的能力開発 I		1
	就職実践基礎		1
	教養特別系	教養特別講義 I	2
		教養特別講義 II	2
		教養特別講義 III	2
		教養特別講義 IV	2
		教養特別講義 V	2
	外国人留学生対象科目	日本事情 F I	2
		日本事情 F II	2
		日本語読解 F I	1
		日本語読解 F II	1
		日本語文法 F I	1
		日本語文法 F II	1
		日本語表現作文 F I	1
		日本語表現作文 F II	1
		日本語総合 F I	1
		日本語総合 F II	1
		専門日本語 F I	1
		専門日本語 F II	1
		日本語会話 F I	1
		日本語会話 F II	1
		日本語総合 R I	2
		日本語総合 R II	2
		日本語読解 R	1
		日本語文法 R	1
日本語表現作文 R		1	
日本語総合 R		1	
専門日本語 R	1		
日本語会話 R	1		
帰国学生対象科目	日本事情 R I	2	
	日本事情 R II	2	

備 考

1 卒業に必要な単位数

区分		必修科目	選択必修科目	選択科目	計
専門科目		38単位	8単位以上	40単位以上	86単位以上
教養科目	英語系、外国語系、日本語系、数理・情報系、スポーツ系	4単位	—	8単位以上	12単位以上
	人文科学系、社会科学系、自然・科学技術系、地域志向系、教養特別系	—	—	22単位以上	22単位以上
	キャリアデザイン系、共通基礎系	1単位	—	3単位以上	4単位以上
計		43単位	8単位以上	73単位以上	124単位以上

2 専門科目のうち、授業科目の前に◎を付した科目は「地域経済コース」を選択した者の必修科目、◇を付した科目は「観光経済コース」を選択した者の必修科目、△を付した科目は「国際経済コース」を選択した者の必修科目とする。

3 単位数を○で囲んだ授業科目は必修科目、□で囲んだ授業科目は選択必修科目、他は選択科目を示す。

7 看護学部
看護学科

区分	授業科目	単位数	
専門科目	人体の構造と機能Ⅰ	①	
	人体の構造と機能Ⅱ	①	
	人体の構造と機能Ⅲ	①	
	代謝栄養学	①	
	病理学総論	①	
	感染と防御	①	
	薬理学総論	①	
	薬物治療学	①	
	病院薬学演習	①	
	カウンセリング論	2	
	疾病・治療論Ⅰ	①	
	疾病・治療論Ⅱ	①	
	疾病・治療論Ⅲ	①	
	疾病・治療論Ⅳ	①	
	疾病・治療論Ⅴ	①	
	疾病・治療論Ⅵ	①	
	疫学	①	
	保健医療福祉行政論	②	
	公衆衛生学	①	
	医療経済論	2	
	看護関係法規	①	
	社会福祉論	1	
	基礎看護学	看護学概論	②
		看護対人関係論	①
		基礎看護技術Ⅰ	②
		基礎看護技術Ⅱ	②
		フィジカルアセスメント	②
		看護過程論	①
		家族看護学	①
基礎看護学実習Ⅰ		①	
基礎看護学実習Ⅱ		②	
地域・在宅看護学	公衆衛生看護学概論	②	
	在宅看護学概論	①	
	在宅看護学援助論Ⅰ	②	
	在宅看護学援助論Ⅱ	①	
	在宅看護学実習	②	

区分	授業科目	単位数		
専門科目	成人看護学概論	②		
	成人看護学援助論Ⅰ（急性）	①		
	成人看護学援助論Ⅰ（慢性）	①		
	成人看護学	成人看護学援助論Ⅱ（急性）	①	
		成人看護学援助論Ⅱ（慢性）	①	
		成人看護学実習（急性）	③	
		成人看護学実習（慢性）	③	
		老年看護学	老年看護学概論	①
			老年看護学援助論Ⅰ	①
			老年看護学援助論Ⅱ	①
	老年看護学実習Ⅰ		①	
	老年看護学実習Ⅱ		①	
	老年看護学実習Ⅲ		②	
	小児看護学	小児看護学概論	①	
		小児看護学援助論Ⅰ	①	
		小児看護学援助論Ⅱ	①	
		小児看護学実習	②	
	母性看護学	母性看護学概論	①	
		母性看護学援助論Ⅰ	①	
		母性看護学援助論Ⅱ	①	
		母性看護学実習	②	
	精神看護学	精神看護学概論	①	
		精神看護学援助論Ⅰ	①	
		精神看護学援助論Ⅱ	①	
		精神看護学実習	②	
	看護の統合と実践	看護倫理	①	
		看護管理学	①	
		看護教育学	1	
		国際看護学	1	
		海外医療セミナー	1	
災害看護論		1		
看護の探求		1		
看護研究Ⅰ		②		
看護研究Ⅱ		②		
総合看護学演習		①		
統合看護学実習		②		

区分	授業科目	単位数	
専門科	公衆衛生看護学(保健師課程)	学校保健	1
		産業保健	1
		保健統計学	1
		公衆衛生看護学活動論Ⅰ	2
		公衆衛生看護学活動論Ⅱ	2
		公衆衛生看護学演習Ⅰ	1
		公衆衛生看護学演習Ⅱ	1
		公衆衛生看護学実習Ⅰ	1
		公衆衛生看護学実習Ⅱ	3
	助産学(助産師課程)	助産学概論	2
		助産診断・技術学Ⅰ	2
		助産診断・技術学Ⅱ	2
		助産診断・技術学Ⅲ	2
		助産診断・技術学Ⅳ	1
		地域母子保健	2
		助産技術学演習Ⅰ	1
		助産技術学演習Ⅱ	1
		助産技術学演習Ⅲ	1
教養科目	人文科学系	倫理学	2
		哲学から学ぶ	2
		生命倫理	2
		地誌学	2
		人文地理学	2
		文学から学ぶ	2
		心理学	2
		文化人類学	2
		教育学	2
	社会科学系	ボランティア活動論	2
		経済学入門	2
		日本の政治	2
		法学入門	2
		経営学入門	2
		女性学	2
		観光学	2
		日本国憲法	2

区分	授業科目	単位数	
教養科目	自然・科学技術系	生物・化学の基礎	2
		教養数学	2
		生物と環境	2
		地学	2
		地学実験	2
	英語系	英語Ⅰ	①
		英語Ⅱ	①
		英語Ⅲ	①
		英語Ⅳ	1
		英語Ⅴ	1
	外国語系	中国語	1
		韓国語	1
	日本語系	日本語表現法	①
	数理・情報系	情報リテラシーⅠ	①
		情報リテラシーⅡ	1
		統計の基礎	①
	キャリアデザイン系	キャリアデザイン	①
		キャリア入門	①
		患者安全	①
		患者コミュニケーション	①
		臨床医療演習	1
	地域志向系	先端医療演習	1
		地域医療実践演習	1
		スポーツ科学Ⅰ	①
	系	スポーツ科学Ⅱ	1
		地域志向系	地域と私
	北河内を知る		2
ソーシャル・イノベーション実務総論	2		
摂南大学PBLプロジェクト	2		
摂南大学PBLプロジェクト	2		
共通基礎系	地域貢献実践演習	2	
	大学教養入門	②	
教養特別系	教養特別講義Ⅰ	2	
	教養特別講義Ⅱ	2	
	教養特別講義Ⅲ	2	
	教養特別講義Ⅳ	2	
	教養特別講義Ⅴ	2	

区 分	授 業 科 目	単位数
外国人留 学生対象 科目	日 本 事 情 F I	2
	日 本 事 情 F II	2
	日 本 語 読 解 F I	1
	日 本 語 読 解 F II	1
	日 本 語 文 法 F I	1
	日 本 語 文 法 F II	1
	日 本 語 表 現 作 文 F I	1
	日 本 語 表 現 作 文 F II	1
	日 本 語 総 合 F I	1
	日 本 語 総 合 F II	1
	専 門 日 本 語 F I	1
	専 門 日 本 語 F II	1
	日 本 語 会 話 F I	1
	日 本 語 会 話 F II	1

区 分	授 業 科 目	単位数
教 養 科 目 帰国学生 対象科目	日 本 事 情 R I	2
	日 本 事 情 R II	2
	日 本 語 読 解 R	1
	日 本 語 文 法 R	1
	日 本 語 表 現 作 文 R	1
	日 本 語 総 合 R	1
	専 門 日 本 語 R	1
	日 本 語 会 話 R	1

備 考

1 卒業に必要な単位数

区分	必修科目	選択科目	計
専門科目	85単位	7単位以上 (専門基礎から3単位以上を含む)	92単位以上
教養科目	13単位	23単位以上 (人文科学系、社会科学系、自然・科学技術系から、各系2単位以上を含む16単位以上。英語系、外国語系、数理・情報系、スポーツ系から3単位以上。キャリアデザイン系から1単位以上を含む。)	36単位以上
計	98単位	30単位以上	128単位以上

2 単位数を○で囲んだ授業科目は必修科目、他は選択科目を示す。

8 農 学 部

イ 農業生産学科

区 分	授 業 科 目	単位数
専 門 科 目	共 通 群	農 学 概 論 ②
		農 学 基 礎 演 習 ①
		グ ローバル 農 業 演 習 2
		ス マー ト 農 業 演 習 1
		農 業 気 象 学 2
		森 林 生 態 学 2
		農 業 知 的 財 産 2
		基 礎 系
	化 学 演 習 ①	
	生 物 学 ②	
	生 物 学 演 習 ①	
	農 業 生 産 学 概 論 ②	
	生 命 倫 理 ②	
	物 理 学 2	
	生 物 統 計 学 2	
	農 業 植 物 系	植 物 遺 伝 学 2
	作 物 機 能 形 態 学 2	
	植 物 生 理 学 2	
	植 物 育 種 学 ②	
	作 物 学 ②	
	野 菜 花 卉 園 芸 学 ②	
	植 物 育 種 方 法 論 2	
	農 作 物 学 汎 論 2	
	果 樹 園 芸 学 2	
	耕 地 生 態 学 2	
	施 設 園 芸 学 2	
	農 業 生 物 系	植 物 病 理 学 ②
応 用 昆 虫 学 ②		
土 壌 学 ②		
植 物 感 染 機 構 学 2		
昆 虫 生 理 生 態 学 2		
植 物 無 機 栄 養 学 2		
多 様 性 生 物 学 2		
環 境 系	土 壌 微 生 物 学 2	
植 物 病 害 管 理 学 2		
害 虫 防 除 論 2		
雑 草 管 理 学 2		
展 開 系	生 態 学 2	
産 業 動 物 学 2		

区 分	授 業 科 目	単位数	
専 門 科 目	展 開 系	海 洋 生 物 学 2	
		ゲ ノム 分 子 生 物 学 I 2	
		バ イ オ テ ク ノ ロ ジー 2	
		生 化 学 I 2	
		農 業 経 営 学 2	
		食 品 産 業 論 2	
		農 畜 産 物 流 通 論 2	
		農 業 経 営 管 理 論 2	
		6 次 産 業 経 営 論 2	
		都 市 農 業 論 2	
		実 験 ・ 実 習 系	化 学 実 験 ②
		生 物 学 実 験 ②	
	物 理 学 実 験 2		
	農 業 生 産 学 特 別 実 習 1		
	農 業 生 産 学 基 礎 実 験 I ②		
	農 業 生 産 学 基 礎 実 験 II ②		
	農 業 生 産 学 専 門 実 験 ②		
	農 業 生 産 学 実 習 I ②		
	農 業 生 産 学 実 習 II ②		
	専 門 総 合 群	応 用 生 物 系	植 物 系 生 物 学 2
	微 生 物 系 生 物 学 2		
	動 物 ・ 海 洋 生 物 系 生 物 学 2		
	食 品 栄 養 系	食 品 の 安 全 性 2	
	栄 養 と ス ポー ツ 2		
	社 会 と 健 康 2		
	食 農 ビジネス系	食 と 農 の 経 2	
	フー ド シ ス テ ム 2		
農 業 の 多 様 性 2			
ゼミ・卒業研究	基 礎 ゼ ミ ナ ー ル ①		
農 業 生 産 学 研 究 ①			
職 業 指 導 I 2			
職 業 指 導 II 2			

区 分	授 業 科 目	単位数	
教養科目	語学系	日本語表現法	1
		基礎英語 I a	1
		基礎英語 I b	1
		基礎英語 II a	1
		基礎英語 II b	1
		実践英語 I	1
		実践英語 II	1
		英語基礎会話 a	1
		英語基礎会話 b	1
		中国語 I	1
		中国語 II	1
		海外語学研修	2
	情報系	情報リテラシー I	①
		情報リテラシー II	1
	体育系	スポーツ科学 I	1
		スポーツ科学 II	1
	人文系	心理学	2
		倫理学	2
		哲学から学ぶ	2
		地誌学	2
		人文地理学	2
		文学から学ぶ	2
		文化人類学	2
		女性学	2
	社会系	ボランティア活動論	2
		経済学入門	2
		日本の政治	2
		法学入門	2
		経営学入門	2
		観光学	2
		日本国憲法	2
	自然系	教養数学	2
生物と環境		2	
地学		2	
地学実験		2	

区 分	授 業 科 目	単位数	
教養科目	キャリア系	キャリアデザイン I	①
		キャリアデザイン II	1
		数的能力開発	1
		インターンシップ基礎	2
		インターンシップ実践	1
		志向地域系	摂南大学 PBL プロジェクト I
	摂南大学 PBL プロジェクト II	2	
	教養特別系	教養特別講義 I	2
		教養特別講義 II	2
		教養特別講義 III	2
		教養特別講義 IV	2
		教養特別講義 V	2
	外国人留学生対象科目	日本事情 F I	2
		日本事情 F II	2
		日本語読解 F	1
		日本語文法 F	1
		日本語表現作文 F	1
		日本語総合 F	1
		専門日本語 F	1
		日本語会話 F	1
		日本事情 R I	2
		日本事情 R II	2
	帰国学生対象科目	日本語読解 R	1
		日本語文法 R	1
		日本語表現作文 R	1
		日本語総合 R	1
専門日本語 R		1	
日本語会話 R		1	

備考

1 卒業に必要な単位数

区分	必修科目	選択科目	計
専門科目	47単位	51単位以上 ①専門コア群30単位以上(基礎系6単位以上、農業植物・栽培系および農業生物・環境系から24単位以上を含む) ②専門総合群10単位以上(各系から2単位以上を含む)を含む	98単位以上
教養科目	2単位	24単位以上 (語学系6単位以上、人文系2単位以上、社会系2単位以上、自然系2単位以上を含む)	26単位以上
計	49単位	75単位以上	124単位以上

2 単位数を○で囲んだ授業科目は必修科目、他は選択科目を示す。

ロ 応用生物科学科

区分	授業科目	単位数	
共通群	農学概論	②	
	農学基礎演習	①	
	グローバル農業演習	2	
	スマート農業演習	1	
	農業気象学	2	
	森林生態学	2	
	農業知的財産	2	
基礎系	化学	②	
	生物学Ⅰ	②	
	生物学Ⅱ	②	
	生命倫理	②	
	物理化学	2	
	生物統計学	2	
	先端生物学概論Ⅰ	2	
	先端生物学概論Ⅱ	2	
	植系	バイオテクノロジー	②
		生物系統学	2
		ゲノム分子生物学Ⅰ	②
	植物系	植物分子生理学Ⅰ	②
ゲノム機能学		2	
植物分子生理学Ⅱ		2	
微生物系	ゲノム分子生物学Ⅱ	②	
	生化学Ⅰ	②	
	応用微生物学	②	
	生態学	②	
	生化学Ⅱ	2	
	微生物工学	2	
動物・海洋生物系	共生ウイルス学	②	
	植物共生微生物学	2	
	産業動物学	②	
	動物機能学	②	
	生体防御学	2	
	生物情報学	2	
	バイオインフォマティクス演習	2	
	海洋生物学	②	
農業系	魚類学	2	
	水圏生物利用化学	2	
	水圏生態学	2	
	植物遺伝学	2	
	作物機能形態学	2	
	野菜花卉園芸学	2	
農業系	植物病理学	2	
	応用昆虫学	2	
	土壌学	2	

専門科目

専門コア群

区分	授業科目	単位数	
専門科目 専門総合群 専門科目 専門科目	実験・実習系	化学実験	②
		生物学実験	②
		物理学実験	2
		応用生物学基礎実験Ⅰ	②
		応用生物学基礎実験Ⅱ	②
		応用生物学専門実験Ⅰ	②
		応用生物学専門実験Ⅱ	②
		農業生産系	昆虫と微生物
	農作物の育種と生産管理		2
	作物利用と生産基盤		2
	食品栄養系	食品の安全性	2
		栄養とスポーツ	2
		社会と健康	2
	系 食農ビジネス	食と農の経済	2
		フードシステム	2
農業の多様性		2	
ゼミ・卒業研究	基礎ゼミナール	①	
	応用生物科学研究	①	
	卒業研究	⑥	

区	分	授 業 科 目	単位数
教養科目	語学系	日 本 語 表 現 法	1
		基 礎 英 語 I a	1
		基 礎 英 語 I b	1
		基 礎 英 語 II a	1
		基 礎 英 語 II b	1
		実 践 英 語 I	1
		実 践 英 語 II	1
		英 語 基 礎 会 話 a	1
		英 語 基 礎 会 話 b	1
		中 国 語 I	1
		中 国 語 II	1
		海 外 語 学 研 修	2
	情報系	情 報 リ テ ラ シ ー I	①
		情 報 リ テ ラ シ ー II	1
	体育系	ス ポ ー ツ 科 学 I	1
		ス ポ ー ツ 科 学 II	1
	人 文 系	心 理 学	2
		倫 理 学	2
		哲 学 か ら 学 ぶ	2
		地 誌 学	2
		人 文 地 理 学	2
		文 学 か ら 学 ぶ	2
		文 化 人 類 学	2
		女 性 学	2
	社会系	ボ ラ ン テ ィ ア 活 動 論	2
		経 済 学 入 門	2
		日 本 の 政 治	2
法 学 入 門		2	
自然系	経 営 学 入 門	2	
	観 光 学	2	
	日 本 国 憲 法	2	
	教 養 数 学	2	
	生 物 と 環 境	2	
	地 学 実 験	2	

区	分	授 業 科 目	単位数	
教養科目	キャリア系	キ ャ リ ア デ ザ イン I	①	
		キ ャ リ ア デ ザ イン II	1	
		数 的 能 力 開 発	1	
		イ ン タ ー ン シ ッ プ 基 礎	2	
		イ ン タ ー ン シ ッ プ 実 践	1	
		地域志向系	摂南大学 PBL プロジェクト I	2
	摂南大学 PBL プロジェクト II		2	
	教養特別系	教 養 特 別 講 義 I	2	
		教 養 特 別 講 義 II	2	
		教 養 特 別 講 義 III	2	
		教 養 特 別 講 義 IV	2	
		教 養 特 別 講 義 V	2	
	外国人留学生対象科目	日 本 事 情 F	2	
		日 本 語 読 解 F	1	
		日 本 語 文 法 F	1	
		日 本 語 表 現 作 文 F	1	
		日 本 語 総 合 F	1	
		専 門 日 本 語 F	1	
		日 本 語 会 話 F I	1	
		日 本 語 会 話 F II	1	
		帰国学生対象科目	日 本 事 情 R I	2
			日 本 事 情 R II	2
	日 本 語 読 解 R		1	
	日 本 語 文 法 R		1	
	日 本 語 表 現 作 文 R		1	
	日 本 語 総 合 R		1	
	専 門 日 本 語 R		1	
日 本 語 会 話 R	1			

備考

1 卒業に必要な単位数

区分	必修科目	選択科目	計
専門科目	53単位	45単位以上 ①植物系、微生物系および動物・海洋生物系から16単位以上 ②専門総合群10単位以上(各系から2単位以上を含む)を含む	98単位以上
教養科目	2単位	24単位以上 (語学系6単位以上、を含む)	26単位以上
計	55単位	69単位以上	124単位以上

2 単位数を○で囲んだ授業科目は必修科目、他は選択科目を示す。

ハ 食品栄養学科

区分		授業科目	単位数
共通群		農学概論	②
		農学基礎演習	①
		グローバル農業演習	2
		スマート農業演習	1
		農業気象学	2
		森林生態学	2
		農業知的財産	2
基礎系	社会・健康と環境	生物学	②
		化学	②
		生命倫理	②
	人体の構造と機能及び疾病の成り立ち	公衆衛生学	②
		健康管理概論	②
		医療福祉論	2
		解剖生理学	②
		臨床医学概論	2
		生化学	②
		微生物学	②
		分子生物学	2
		臨床病態学	2
		運動生理学	②
薬理学	2		
食べ物と健康	解剖生理学実習	①	
	生化学実験	①	
	微生物学実験	1	
	食品学総論	②	
	食品学各論	②	
	食品衛生学	②	
	食品加工学	2	
	調理学	②	
	基礎科学実験	1	
	食品学実験Ⅰ	①	
	食品学実験Ⅱ	①	
	食品衛生学実験	①	
食品加工学実習	1		
調理学実習Ⅰ	①		
調理学実習Ⅱ	①		
基礎栄養学	基礎栄養学	②	
	基礎栄養学実習	①	
	応用栄養学	応用栄養学Ⅰ	②
		応用栄養学Ⅱ	②
応用栄養学Ⅲ		2	
応用栄養学実習		①	

専門科目

専門コア群

区分		授業科目	単位数	
専門科目	栄養教育論	栄養教育論Ⅰ	②	
		栄養教育論Ⅱ	②	
		栄養教育論Ⅲ	2	
		栄養教育論実習	①	
		臨床栄養学	臨床栄養学Ⅰ	②
			臨床栄養学Ⅱ	2
			臨床栄養学Ⅲ	2
			臨床栄養学Ⅳ	2
			栄養薬理学	2
			臨床栄養学実習Ⅰ	①
			臨床栄養学実習Ⅱ	1
		臨床栄養学実習Ⅲ	1	
	公衆栄養学	公衆栄養学Ⅰ	②	
		公衆栄養学Ⅱ	2	
		公衆栄養学実習	①	
	給食経営管理論	給食経営管理論Ⅰ	②	
		給食経営管理論Ⅱ	2	
		給食経営管理実習	①	
	総合演習	臨地実習指導（演習）	1	
		管理栄養士総合演習	1	
	臨地実習	給食運営実習（校外）	①	
		臨地実習Ⅰ（給食経営管理論）	1	
		臨地実習Ⅱ（公衆栄養学）	1	
		臨地実習Ⅲ（臨床栄養学）	2	
臨地実習Ⅳ（臨床栄養学）	3			
産生	農業系	昆虫と微生物	2	
		農作物の育種と生産管理	2	
		作物利用と生産基盤	2	
	応用生物系	植物系生物学	2	
		微生物系生物学	2	
		動物・海洋生物系生物学	2	
食農ビジネス	食と農の経済	2		
	フードシステム	2		
	農業の多様性	2		
ゼミ・卒業研究	基礎ゼミナール	①		
	食品栄養学研究	①		
卒業研究	卒業研究	⑥		

区分	授業科目	単位数	区分	授業科目	単位数		
教養科目	語学系	日本語表現法	1	キャリア系	キャリアデザインⅠ	①	
		基礎英語Ⅰa	1		キャリアデザインⅡ	1	
		基礎英語Ⅰb	1		数的能力開発	1	
		基礎英語Ⅱa	1		インターンシップ基礎	2	
		基礎英語Ⅱb	1		インターンシップ実践	1	
		実践英語Ⅰ	1		臨床医療演習	1	
		実践英語Ⅱ	1		臨床医療実践演習	1	
		英語基礎会話a	1		セルフメディケーション演習	1	
		英語基礎会話b	1		系志地域	摂南大学PBLプロジェクトⅠ	2
		中国語Ⅰ	1			摂南大学PBLプロジェクトⅡ	2
		中国語Ⅱ	1	教養特別系	教養特別講義Ⅰ	2	
		海外語学研修	2		教養特別講義Ⅱ	2	
		情報系	情報リテラシーⅠ		①	教養特別講義Ⅲ	2
	情報リテラシーⅡ		1		教養特別講義Ⅳ	2	
	体育系	スポーツ科学Ⅰ	1		教養特別講義Ⅴ	2	
		スポーツ科学Ⅱ	1	外国人留学生対象科目	日本事情FⅠ	2	
	人文系	心理学	2		日本事情FⅡ	2	
		倫理学	2		日本語読解F	1	
		哲学から学ぶ	2		日本語文法F	1	
		地誌学	2		日本語表現作文F	1	
		人文地理学	2		日本語総合F	1	
		文学から学ぶ	2		専門日本語F	1	
		文化人類学	2		日本語会話F	1	
		女性学	2		帰国学生対象科目	日本事情RⅠ	2
	社会系	ボランティア活動論	2			日本事情RⅡ	2
		経済学入門	2	日本語読解R		1	
		日本の政治	2	日本語文法R		1	
		法学入門	2	日本語表現作文R		1	
		経営学入門	2	日本語総合R		1	
		観光学	2	専門日本語R		1	
日本国憲法		2	日本語会話R	1			
自然系	教養数学	2					
	教養生物※2	②					
	生物と環境	2					
	地学実験	2					

備考

1 卒業に必要な単位数

区分	必修科目	選択科目	計
専門科目	67単位	31単位以上 ①専門コア群14単位以上 ②専門総合群10単位以上(各系から2単位以上を含む)を含む	98単位以上
教養科目	2単位	24単位以上 (語学系6単位以上を含む)	26単位以上
計	69単位	55単位以上	124単位以上

2 単位数を○で囲んだ授業科目は必修科目、他は選択科目を示す。

ニ 食農ビジネス学科

区	分	授 業 科 目	単位数	
専 門 科 目	共通群	農 学 概 論	②	
		農 学 基 礎 演 習	①	
		グロ ー バ ル 農 業 演 習	2	
		ス マ ー ト 農 業 演 習	1	
		農 業 気 象 学	2	
		森 林 生 態 学	2	
		農 業 知 的 財 産	2	
	基礎系	食農ビジネス学概論	②	
		食 と 農 の 倫 理	②	
		基 礎 経 済 学	②	
		ア グ ロ ・ エ コ ロ ジ ー 論	②	
		基 礎 統 計 学	②	
		食 と 農 の 近 現 代 史	②	
		ミ ク ロ 経 済 学	②	
		マ ク ロ 経 済 学	2	
		簿 記 基 礎	2	
		社 会 調 査 論	2	
		食農ビジネス最前線	2	
		農業経済・経営・政策系	農 業 経 営 学	②
			食 料 ・ 農 業 経 済 学	2
	食 料 ・ 農 業 ・ 農 村 政 策 論		2	
	農 業 経 営 管 理 論		2	
	農 村 社 会 学		2	
	6 次 産 業 経 営 論		2	
	地 域 マ ネ ジ メ ン ト 論		2	
	地 域 環 境 経 済 論		2	
	食農ビジネス実践論		◇	
	食品産業・流通系		フ ー ド シ ス テ ム 論	②
		食 品 産 業 論	2	
		食 料 ・ 農 業 市 場 論	2	
		農 畜 産 物 流 通 論	2	
		水 産 物 流 通 論	2	
		農 水 産 物 マ ー ケ テ ィ ン グ 論	2	
		食 品 表 示 ・ 認 証 論	2	
		女 性 起 業 論	2	
	食 品 産 業 経 営 戦 略 論	◇		
	食農共生・循環型農業系	食 農 共 生 論	②	
		循 環 型 農 業 論	2	
		食 農 教 育 論	2	
		協 同 組 合 論	2	
		都 市 農 業 論	2	
		非 営 利 協 同 論	2	
有 機 農 業 論		2		
農 村 コ ミ ュ ニ テ ィ ビ ジ ネ ス 論	◇			

区	分	授 業 科 目	単位数		
専 門 科 目	専門コア群	国 際 農 業 系	比 較 農 業 論	②	
		国 際 農 業 論	2		
		農 業 開 発 論	2		
		現 代 韓 国 農 業 論	2		
		現 代 中 国 農 業 論	2		
	専門総合群	農業生産系	昆 虫 と 微 生 物	2	
			農 作 物 の 育 種 と 生 産 管 理	2	
			作 物 利 用 と 生 産 基 盤	2	
		応用生物学系	植 物 系 生 物 学	2	
			微 生 物 系 生 物 学	2	
			動 物 ・ 海 洋 生 物 系 生 物 学	2	
			食品栄養系	食 品 の 安 全 性	2
				栄 養 と ス ポ ー ツ	2
				社 会 と 健 康	2
			ゼミ・卒業研究	基 礎 ゼ ミ ナ ー ル	①
	食農ビジネス学基礎演習Ⅰ	②			
	食農ビジネス学基礎演習Ⅱ	②			
	食農ビジネス学基礎演習Ⅲ	②			
	食農ビジネス学研究Ⅰ	②			
	食農ビジネス学研究Ⅱ	②			
	卒 業 研 究	⑥			

区 分	授 業 科 目	単位数	
教養科目	語学系	日本語表現法	1
		基礎英語Ⅰa	1
		基礎英語Ⅰb	1
		基礎英語Ⅱa	1
		基礎英語Ⅱb	1
		実践英語Ⅰ	1
		実践英語Ⅱ	1
		英語基礎会話a	1
		英語基礎会話b	1
		中国語Ⅰ	1
		中国語Ⅱ	1
		海外語学研修	2
		情報系	情報リテラシーⅠ
	情報リテラシーⅡ		1
	体育系	スポーツ科学Ⅰ	1
		スポーツ科学Ⅱ	1
	人文学系	心理学	2
		倫理学	2
		哲学から学ぶ	2
		地誌学	2
		人文地理学	2
		文学から学ぶ	2
		文化人類学	2
		女性学	2
	社会系	ボランティア活動論	2
経済学入門		2	
日本の政治		2	
法学入門		2	
経営学入門		2	
観光学		2	
自然系	日本国憲法	2	
	教養数学	2	
	教養生物	②	
	生物と環境	2	
	地学	2	
	地学実験	2	

区 分	授 業 科 目	単位数		
教養科目	キャリア系	キャリアデザインⅠ	①	
		キャリアデザインⅡ	1	
		数的能力開発	1	
		インターンシップ基礎	2	
		インターンシップ実践	1	
	系 志向 地域	摂南大学PBLプロジェクトⅠ	2	
		摂南大学PBLプロジェクトⅡ	2	
	教養特別系	教養特別講義Ⅰ	2	
		教養特別講義Ⅱ	2	
		教養特別講義Ⅲ	2	
		教養特別講義Ⅳ	2	
		教養特別講義Ⅴ	2	
	外国人留学生対象科目	日本事情 FⅠ	2	
		日本事情 FⅡ	2	
		日本語読解 F	1	
		日本語文法 F	1	
		日本語表現作文 F	1	
		日本語総合 F	1	
		専門日本語 F	1	
		日本語会話 F	1	
		帰国学生対象科目	日本事情 RⅠ	2
			日本事情 RⅡ	2
	日本語読解 R		1	
	日本語文法 R		1	
日本語表現作文 R	1			
日本語総合 R	1			
専門日本語 R	1			
日本語会話 R	1			

備考

1 卒業に必要な単位数

区分	必修科目	選択科目	計
専門科目	42単位	56単位以上 ①専門コア群26単位以上(選択必修科目Aから2単位、選択必修科目B科目から10単位以上を含む) ②専門総合群10単位以上(各系から2単位以上を含む)を含む	98単位以上
教養科目	4単位	22単位以上 (語学系6単位以上を含む)	26単位以上
計	46単位	78単位以上	124単位以上

2 単位数を○で囲んだ授業科目は必修科目、◇で囲んだ授業科目は選択必修科目A、□で囲んだ授業科目は選択必修科目B、他は選択科目を示す。

9 現代社会学部

現代社会学科

区分	授業科目	単位数
専 門 科	現代社会学入門	②
	現代社会の諸問題	②
	社会学説史	2
	社会心理学	2
	環境社会学	2
	都市計画論	2
	メディア社会学	2
	文化社会学	2
	日本社会変動史	2
	自我と関係の社会学	2
	スポーツ社会学	2
	地域福祉論	2
	地域社会学	2
	産業労働社会学	2
	情報社会論	2
	福祉社会学	2
	ジェンダー論	2
	家族社会学	2
	社会運動・ボランティア論	2
	子どもと教育の社会学	2
国際社会学	2	
臨床心理学	2	
地域スポーツ論	2	
科 目	社会調査入門	②
	社会調査法	②
	基礎統計学	②
	社会統計学	2
	多変量解析法	2
	質的調査法	2
	社会調査実習Ⅰ(量的)	2
	社会調査実習Ⅰ(質的)	2
	社会調査実習Ⅱ(量的)	2
	社会調査実習Ⅱ(質的)	2
F A L 科 目	F A L 入門	②
	F A L 実践	2
	F A L 演習Ⅰ	2
	F A L 演習Ⅱ	2
	F A L 演習Ⅲ	2
	F A L 演習Ⅳ	2

区分	授業科目	単位数		
専 門 科 目	社会構造変動史	②		
	日常生活世界論	②		
	ソーシャルイノベーション科目群	地域社会形成論	2	
		人間環境の社会学	2	
		階層構造変動史	2	
		自然と科学の社会学	2	
		エスニシティ論	2	
		教育の歴史社会学	2	
		政治文化の社会学	2	
		S D G s と国際社会	2	
		ライフデザイン科目群	生涯スポーツ論	2
			思春期・若者論	2
	犯罪・非行の社会学		2	
	仕事とくらしの社会学		2	
	ジェロントロジー		2	
	都市住宅論		2	
	観光地域福祉論		2	
	ヘルスプロモーション論		2	
	メディアコミュニケーション科目群		ビデオ・エスノグラフィー	2
			司法・犯罪心理学	2
		地域メディア論	2	
		差別の社会学	2	
		身体とコミュニケーション	2	
		広報メディア論	2	
		映画を読み解く社会学	2	
		ジャーナリズム論	2	
		演習・卒業研究	初年次ゼミ	②
			初年次演習	②
	基礎演習Ⅰ		②	
	基礎演習Ⅱ		②	
	専門演習Ⅰ		②	
	専門演習Ⅱ		②	
	卒業研究Ⅰ		③	
卒業研究Ⅱ	③			

区分	授業科目	単位数	
教	人文科学系	日本の歴史	2
		世界の歴史	2
		心理学Ⅰ	2
		心理学Ⅱ	2
		哲学Ⅰ	2
		哲学Ⅱ	2
		人文地理学	2
		地誌学	2
		文学から学ぶ	2
	社会科学系	法学入門	2
		日本国憲法	2
		日本の政治	2
		経済学入門	2
		世界の政治	2
		経営学入門	2
	自然・科学技術系	公衆衛生学	2
自然地理学		2	
科学技術教養		2	
英語系	基礎英語Ⅰa	①	
	基礎英語Ⅱa	1	
	実践英語Ⅰa	1	
	実践英語Ⅱa	1	
	時事英語Ⅰ	1	
	時事英語Ⅱ	1	
	英語基礎会話Ⅰ	1	
	英語基礎会話Ⅱ	1	
	外国語系	海外語学研修	2
	日本語系	日本語基礎	①
日本語表現		1	
数理・情報系	数学基礎	①	
	データサイエンス基礎	①	
	情報リテラシー	1	
キャリアデザイン系	キャリア基礎	①	
	キャリアデザイン	1	
	インターンシップ	2	
	ビジネス実務	2	
スポーツ系	スポーツ科学実習Ⅰ	1	
	スポーツ科学実習Ⅱ	1	
科	目		

区分	授業科目	単位数
教	共通基礎系	大学教養入門 ②
		大学教養実践 2
		数的能力開発 I 1
		就職実践基礎 1
養	外国人留学生対象科目	日本事情 F I 2
		日本事情 F II 2
		日本語読解 F I 1
		日本語読解 F II 1
		日本語文法 F I 1
		日本語文法 F II 1
		日本語表現作文 F I 1
		日本語表現作文 F II 1
		日本語総合 F I 1
		日本語総合 F II 1
		専門日本語 F I 1
		専門日本語 F II 1
		日本語会話 F I 1
		日本語会話 F II 1
科	帰国学生対象科目	日本事情 R I 2
		日本事情 R II 2
		日本語読解 R 1
		日本語文法 R 1
		日本語表現作文 R 1
		日本語総合 R 1
		専門日本語 R 1
		日本語会話 R 1
目		

備考

1 卒業に必要な単位数

区分	必修科目	選択科目	計
専門科目	34単位	52単位以上 (基礎科目から16単位以上、FAL科目から2単位以上、展開科目から18単位以上(各科目群から2単位以上を含む)を含む)	86単位以上
教養科目	7単位	31単位以上	38単位以上
計	41単位	83単位以上	124単位以上

2 単位数を○で囲んだ授業科目は必修科目、他は選択科目を示す。

別表第2 教職課程の設置により開設する授業科目および単位数

授 業 科 目	単位数	授 業 科 目	単位数
職業指導	4	教育原理	2
職業指導Ⅰ	2	教師論	2
職業指導Ⅱ	2	教育経営論	2
理科教育法Ⅰ	2	教育心理学	2
理科教育法Ⅱ	2	特別支援教育論	2
理科教育法Ⅲ	2	教育課程論	2
理科教育法Ⅳ	2	道徳教育論	2
工業科教育法Ⅰ	2	特別活動・総合的な学習の時間の理論と指導法	2
工業科教育法Ⅱ	2	教育方法論	2
数学科教育法Ⅰ	2	教育における情報通信技術の活用	1
数学科教育法Ⅱ	2	生徒指導論(進路指導を含む)	2
数学科教育法Ⅲ	2	教育相談(カウンセリングの基礎を含む)	2
数学科教育法Ⅳ	2	教育実習Ⅰ	1
英語科教育法Ⅰ	2	教育実習Ⅱ	2
英語科教育法Ⅱ	2	教育実習Ⅲ	4
英語科教育法Ⅲ	2	栄養教育実習Ⅰ	1
英語科教育法Ⅳ	2	栄養教育実習Ⅱ	1
商業科教育法	4	教職実践演習(中・高)	2
情報科教育法	4	教職実践演習(栄養教諭)	2
社会科教育法Ⅰ(地歴分野)	2	地域連携教育活動Ⅰ	2
社会科教育法Ⅱ(地歴分野)	2	地域連携教育活動Ⅱ	2
社会科教育法Ⅲ(公民分野)	2		
社会科教育法Ⅳ(公民分野)	2		
農業科教育法Ⅰ	2		
農業科教育法Ⅱ	2		
学校栄養指導論Ⅰ	2		
学校栄養指導論Ⅱ	2		

別表第2の2 教育職員免許状の種類および免許教科

1 中学校教諭一種免許状

免許教科	学部、学科等
社 会	法学部 法律学科 経済学部 経済学科 現代社会学部 現代社会学科
数 学	理工学部 住環境デザイン学科 建築学科 機械工学科 電気電子工学科 都市環境工学科
理 科	理工学部 生命科学科 農学部 農業生産学科 応用生物科学科
英 語	国際学部 国際学科

2 高等学校教諭一種免許状

免許教科	学部、学科等
公 民	法学部 法律学科 経済学部 経済学科 現代社会学部 現代社会学科
数 学	理工学部 住環境デザイン学科 建築学科 機械工学科 電気電子工学科 都市環境工学科
理 科	理工学部 生命科学科 農学部 農業生産学科 応用生物科学科
情 報	経営学部 経営学科
工 業	理工学部 住環境デザイン学科 建築学科 機械工学科 電気電子工学科 都市環境工学科
商 業	経営学部 経営学科
農 業	農学部 農業生産学科
英 語	国際学部 国際学科

3 栄養教諭一種免許状

免許教科	学部、学科等
栄養教諭	農学部 食品栄養学科

別表第3

学費

1 各学部の学費の金額は、つぎのとおりとする。

(単位：円)

学部		科目・年次	金額				
			1年次	2年次	3年次	4年次	5年次
理工学部	入学金	250,000	—	—	—	—	—
	授業料	1,290,000	1,290,000	1,290,000	1,290,000	—	—
	教育充実費	100,000	200,000	200,000	200,000	—	—
国際学部	入学金	250,000	—	—	—	—	—
	授業料	980,000	980,000	980,000	980,000	—	—
	教育充実費	50,000	150,000	150,000	150,000	—	—
経営学部	入学金	250,000	—	—	—	—	—
	授業料	920,000	920,000	920,000	920,000	—	—
	教育充実費	50,000	150,000	150,000	150,000	—	—
薬学部	入学金	450,000	—	—	—	—	—
	授業料	1,760,000	1,760,000	1,760,000	1,760,000	1,760,000	1,760,000
	教育充実費	100,000	200,000	200,000	200,000	200,000	200,000
法学部	入学金	250,000	—	—	—	—	—
	授業料	900,000	900,000	900,000	900,000	—	—
	教育充実費	50,000	150,000	150,000	150,000	—	—
経済学部	入学金	250,000	—	—	—	—	—
	授業料	920,000	920,000	920,000	920,000	—	—
	教育充実費	50,000	150,000	150,000	150,000	—	—
看護学部	入学金	250,000	—	—	—	—	—
	授業料	1,550,000	1,550,000	1,550,000	1,550,000	—	—
	教育充実費	100,000	200,000	200,000	200,000	—	—
農学部	入学金	250,000	—	—	—	—	—
	授業料						
	農業生産	1,300,000	1,300,000	1,300,000	1,300,000	—	—
	応用生物科	1,300,000	1,300,000	1,300,000	1,300,000	—	—
	食品栄養	1,300,000	1,300,000	1,300,000	1,300,000	—	—
	食農ビジネス	1,050,000	1,050,000	1,050,000	1,050,000	—	—
	教育充実費						
	農業生産	100,000	200,000	200,000	200,000	—	—
	応用生物科	100,000	200,000	200,000	200,000	—	—
	食品栄養	130,000	230,000	230,000	230,000	—	—
食農ビジネス	50,000	150,000	150,000	150,000	—	—	
現代社会学部	入学金	250,000	—	—	—	—	—
	授業料	945,000	945,000	945,000	945,000	—	—
	教育充実費	50,000	150,000	150,000	150,000	—	—

2 履修に特別の経費を要する場合は、これを当該課程の履修者から徴収することがある。その場合の金額および納期は、別に定める。

3 学費の額は、経済情勢の変動によっては改定することがある。

別表第4
研究料

(単位：円)

学部	金額	備考
理工学部	410,000	年額
国際学部	310,000	〃
経営学部	315,000	〃
薬学部	660,000	〃
法学部	315,000	〃
経済学部	315,000	〃
看護学部	550,000	〃
農学部	410,000	〃
現代社会学部	315,000	〃

別表第5

履修料

(単位：円)

学部	金額	備考
理工学部	20,000	1単位あたり
国際学部	15,000	
経営学部		
薬学部	25,000	
法学部	15,000	
経済学部		
看護学部	25,000	
農学部	20,000	
現代社会学部	15,000	

別表第6
在籍料

(単位：円)

学部	前期	後期
理工学部	60,000	60,000
国際学部		
経営学部		
薬学部		
法学部		
経済学部		
看護学部		
農学部		
現代社会学部		